

津市立栗真小学校給食受入施設改修工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
【建築工事】			【電気設備工事】			【機械設備工事】		
A-01	特記仕様書 1	-	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	-	M-01	機械設備工事特記仕様書 1	-
A-02	特記仕様書 2	-	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	-	M-02	機械設備工事特記仕様書 2	-
A-03	特記仕様書 3	-	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	-	M-03	空調換気設備 1階平面図 (改修後)	S=1/100
A-04	特記仕様書 4	-	E-04	1階動力・弱電設備平面図 (改修前・改修後)	S=1/100	M-04	給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修前・後)	S=1/50
A-05	特記仕様書 5	-	E-05	1階電灯コンセント設備平面図 (改修前・改修後) 2階、3階電気設備平面図	S=1/100	M-05	給排水衛生設備 2、3階平面詳細図 (改修後)	S=1/50
A-06	附近見取図・配置図兼仮設計画図	S=1/500						
A-07	仕上表	-						
A-08	1階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図	S=1/200						
A-09	2階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図	S=1/200						
A-10	3階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図	S=1/200						
A-11	1階平面詳細図 (改修前) 建具表 (改修前)	S=1/50						
A-12	1階平面詳細図 (改修後) 建具表 (改修後)	S=1/50						
A-13	1階展開図 (改修後)	S=1/50						
A-14	2階配膳室平面詳細図 (改修前・改修後) 2階配膳室展開図 (改修後)	S=1/50						
A-15	3階配膳室平面詳細図 (改修前・改修後) 3階配膳室展開図 (改修後)	S=1/50						
A-16	天井伏図 (改修前・改修後)	S=1/100						
A-17	雑詳細図	図示						

原図：A 2

<p>工事特記仕様書（改修）</p> <p>I. 工事名称 津市立栗真小学校給食受入施設改修工事</p> <p>II. 工事概要</p> <p>1 工事場所 津市栗真中山町地内</p> <p>2 敷地面積 11,246 m²</p> <p>3 工事内容</p> <p>棟名称 給食棟、管理・普通教室棟</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造</p> <p>建築面積 1,552 m²</p> <p>延べ面積 3,842 m²</p> <p>工事項目 建具改修、内外装改修、塗装改修、躯体改修</p> <p>III. 建築改修工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。</p>	
---	--

章	項目	特記事項																																				
一般 共通 事項	① ① 適用基準等	<p>1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）</p> <p>国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）</p> <p>2) 建築工事標準詳細図</p> <p>国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）</p>																																				
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。</p> <p>※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。</p> <p>※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。</p> <p>※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。</p> <p>※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。</p> <p>※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。</p> <p>※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。</p> <p>※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</p> <p>※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</p> <p>※ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。</p> <p>※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p> <p>※ 作業着手までの校内調査は、事前に学校及び市監督員の承諾を得るものとし、学校の授業終了後、休日等の行事に影響を与えない範囲とする。</p> <p>※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。</p> <p>※ 屋外仮囲い、撤去工事等の現場への本格着手は7月21日からとする。ただし、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。</p> <p>※ 7月23日、24日、25日は学習会が行われるため、廊下床養生及び2階、3階の工事は7月26日から開始すること、その他の作業については騒音・振動に十分留意すること。</p> <p>※ 9月1日より配膳室を使用するため、市検査課の本検査を受け、8月31日までに引き渡すこと。</p> <p>※ 工事期間中の学校敷地内は、工事作業員及び工事車両と生徒等との動線交錯が発生するため、安全確保に十分留意し、現場作業日には終日誘導員を配置すること。</p> <p>※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し、施工すること。</p> <p>※ 夏休み中も、屋内運動場等を利用する為、安全に十分配慮すること。なお、夜間開放も予定されている。</p> <p>※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。</p>																																				
	① ② 足場	<p>(2.2.1)</p> <p>(表2.2.1)</p>	<p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別 ○ 脚立 ・ 足踏板 ・ ()</p> <p>外部足場の種別 ・ ()</p> <p>防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>既存部分の養生 ○ 図示</p> <p>既存ブラインド・カーテンの養生</p> <p>養生方法 ()</p> <p>保管場所 ・ 構内既存施設内</p> <p>固定された備品、机、ロッカーの移動</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p>																																			
	② 既存部分の養生	(2.3.1)	<p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ・ C種</p> <p>合板 厚さ ・ 9mm ・ ()</p> <p>せつこうボード 厚さ ○ 9.5mm ・ ()</p> <p>合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>仮設扉</p> <p>設置箇所 ○ 図示</p> <p>種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種</p>																																			
	③ 仮設間仕切り	(2.3.2)	<p>・ 構内建物内の一部を使用する。</p> <p>・ 設置する ・ 設置しない</p> <p>監督員事務所の規模(単位:m)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <td>10程度</td> <td>20程度</td> <td>35程度</td> <td>65程度</td> <td>100程度</td> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位 等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗</td> </tr> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗	屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗																					
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																
	部 位 等	仕 上 げ																																				
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																				
	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗																																				
	屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗																																				
4 監督員事務所	(2.4.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <td>机・いす</td> <td>書棚</td> <td>黒板・白板</td> <td>掛時計</td> <td>温度計</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話 FAX</td> <td>冷暖房機器</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																	
数量	組	台	個	個	個																																	
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																	
数量	足	着	個	個	台																																	
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																	
数量	個	個	台	台	台																																	
5 監督員事務所の備品等	(2.4.1)(b)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <td>机・いす</td> <td>書棚</td> <td>黒板・白板</td> <td>掛時計</td> <td>温度計</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話 FAX</td> <td>冷暖房機器</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																	
数量	組	台	個	個	個																																	
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																	
数量	足	着	個	個	台																																	
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																	
数量	個	個	台	台	台																																	
6 仮設便所		<p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる ○ 利用できない</p>																																				
7 工事用水		<p>構内既存の施設</p> <p>○ 利用できる (・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない</p>																																				
8 工事用電力		<p>構内既存の施設</p> <p>○ 利用できる (・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない</p> <p>有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p>																																				
9 交通誘導警備員		<p>配置 ○ 図示 現場作業時、常時配置</p>																																				

原図：A 2

	<p>一級建築士事務所</p> <p>三重県知事登録 第1-2026号</p> <p>一級建築士 大丘登録 第327163号</p> <p>萩原 正洋</p>	訂正	特記	工事名称	津市立栗真小学校給食受入施設改修工事	図面内容	特記仕様書 1	図面番号	A-01
	縮尺	—	年月日			枚/内	区分		

③ 防水改修工事	1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～ (表3.3.10)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIB</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PIE</td> <td>・ E-1 ・ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()</p>	工法	種別	施工箇所	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ PIE	・ E-1 ・ E-2		・ P2E							
	工法	種別	施工箇所																
	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																	
	・ PIE	・ E-1 ・ E-2																	
	・ P2E																		
	2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)	<p>改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()</p>																	
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2)	<p>ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示() 断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ () ・ 図示 ()</p>																	
	(3.5.3) (表3.5.1)～ (表3.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S1-F1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td>・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	種別	仕上塗料	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)			・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)							
	工法	種別	種別	仕上塗料															
	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)																	
・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)																		
(3.5.3)	<p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:)、材質()) ・ 設けない</p>																		
(3.5.4)	<p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示(図面番号:) 増張り ・ 図示(図面番号:) 保護層の施工 ・ 図示(図面番号:)</p>																		
4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ POX</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	・ POX	・ X-1 ・ X-2			・ L4X									
工法	種別	施工箇所	仕上塗料																
・ POX	・ X-1 ・ X-2																		
・ L4X																			
(3.6.3)(b)	<p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:)、材質()) ・ 設けない</p>																		
(3.6.3)(c)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIY</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・ PIY	・ Y-2		・ P2Y											
工法	種別	施工箇所																	
・ PIY	・ Y-2																		
・ P2Y																			
5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6)(c)(2) (3.2.6)(c)(6)	<p>保護層 ・ 図示(図面番号:) (M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない</p>																		
6 シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>ガラス</td> </tr> <tr> <td>・ SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td>Uカット</td> </tr> </table>	種類	材種	施工箇所	○ SR-1	シリコーン系	ガラス	・ SR-2	シリコーン系		○ MS-2	変成シリコーン系	その他	・ PS-2	ポリサルファイド系		○ PU-2	ポリウレタン系	Uカット
種類	材種	施工箇所																	
○ SR-1	シリコーン系	ガラス																	
・ SR-2	シリコーン系																		
○ MS-2	変成シリコーン系	その他																	
・ PS-2	ポリサルファイド系																		
○ PU-2	ポリウレタン系	Uカット																	
(3.7.4～7)	<p>工法 ○ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 (ボンドブレード幅 mm、エッジング材幅 mm)</p>																		
(3.7.8)	<p>シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない</p>																		
7 とい (3.8.2) (表3.8.1)	<p>材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管) () 工法 ・ 図示(図面番号:)</p>																		
8 アルミニウム製笠木 (3.9.2)(c) (表3.9.1)	<p>部材の種類 ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形(本体幅()mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())</p>																		
(3.9.3)(b)	<p>固定金具の間隔(mm) 固定方法 ・ ()</p>																		
(3.9.2)(d) (3.9.3)	<p>表面処理 ・ () 工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示(図面番号:) 下地補修の工法 ・ 図示(図面番号:) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示(図面番号:) 笠木固定金具の工法 ・ 図示(図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。</p>																		

4 外壁改修工事	1 施工数量調査	<ul style="list-style-type: none"> 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ・ () 調査項目 ・ ひび割れ部(・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上) はがれ及びはく落部分 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等(・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 																															
	2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンリート打放し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 浮き部</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 浮き部</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 塗り仕上げ外壁</td> <td>新規仕上げ</td> <td>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ 浮き部	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	・ 浮き部	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り
	外壁	種類	改修工法																														
	・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																														
		欠損部	・ 充填工法																														
	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																														
		欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																														
	・ 浮き部	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																														
		目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																														
	・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法																														
欠損部		・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																															
・ 浮き部	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																															
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																															
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																															
	⑤ ① 改修工法 (5.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ かぶせ工法 ○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法 																															
2 防火戸 (5.1.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例示仕様 ・ 個別認定(認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示(図面番号:) 																																
3 見本の製作 (5.1.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作する ・ 製作しない 																																
4 防犯建物部品 (5.1.7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) 																																
5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(c)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再使用する ・ 再使用しない 																																
⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1)	<p>性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示(図面番号:) 																																
(表5.2.2)	<p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部に面する建具 <ul style="list-style-type: none"> ・ B-1 ○ B-2 ・ () ・ 内部に面する建具 <ul style="list-style-type: none"> ・ C-1 ・ C-2 ・ () 																																
7 網戸 (5.2.3)(e)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 																																
8 樹脂製建具 (5.3.2)～(5.3.5) (表5.3.1)～ (表5.3.3)	<p>性能等級等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示(図面番号:) 水切り ・ 図示(図面番号:) 																																

9 鋼製建具 (5.4.2)	<p>鋼製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () JIS G 3317 ・ Y08 ・ () ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号:)
(5.4.3)	<p>⑨ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)</p> <p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ○ 図示 <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装 ○ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板(・ HL ・ 鏡面)
11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)	<p>ステンレス製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) <p>(5.6.3) 材料 ・ SUS304 ・ ()</p> <p>(5.6.4) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()</p> <p>(5.6.5) 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p>
⑩ 建具用金物 (5.7.2)	<p>金物の見え掛かり部等の材質等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示(図面番号:) <p>(5.7.4) マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない ※但し既存マスターキーに適合すること 引渡用鍵箱 ・ 必要 ○ 不要</p>
13 自動ドア開閉装置 (5.8.2)	<p>開閉装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示(図面番号:) <p>(5.8.3) センサーの種類 (表5.8.3) ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(5.8.3)(f) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし</p>
⑪ 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	<p>自閉式上吊り引戸装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()
15 重量シャッター (5.10.2)	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>(5.10.2)(c) 開閉機能 (表5.10.1) ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式</p> <p>(5.10.2)(f) 一般重量シャッターのシャッターケース (5.10.3) ・ 設けない ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p>
16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)	<p>開閉形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>(5.11.4) スラットの材質及び形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()
17 オーバーヘッドドア (5.12.2)	<p>型式及び機構</p> <p>セクション材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 <p>収納形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 <p>(5.12.3) ガイドレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板


原図：A 2

	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大丘登録 第327163号 萩原 正洋</p>	<p>訂正</p>	<p>特記</p>	<p>工事名称 津市立栗真小学校給食受入施設改修工事</p>	<p>図面内容 特記仕様書 2</p>	<p>図面番号 A-02</p>
	<p>縮尺</p>	<p>年月日</p>	<p>枚/内 区分</p>			

5 建具改修工事 ⑧ 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4) ⑨ ガラス留め材 (5.13.2)(b) ⑩ ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3) 2.1 ガラスブロック積み (5.13.5)	○ 図示 ○ シーリング ・ ガasket () ・ 図示 (図面番号:) ○ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。	(6.5.2)(e) (6.5.5)(a) (6.5.6)(a)(1) (6.5.6)(b)表6.5.8 ⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)(表6.6.1) (6.6.3) (6.6.4) (6.7.3) ⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) ⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(6.8.2)(a) (6.8.2)(b) (6.8.2)(c)(1) (6.8.2)(c)(2) (6.8.2)(c)(3) (6.8.2)(c)(4) (6.8.2)(e) (6.8.3)(a) (6.8.3)(b)	○ 床張り用合板等 <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>耐水用合板</td> <td>ワラ</td> <td>特類</td> <td>2級</td> <td>C-D</td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 () 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 木材 (2) 工法 表6.5.8 (その1) 転ばし大引 野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 () ・ 屋外 ○ 25形 () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ>3m ・ 図示 (図面番号:) 既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う (図示 (図面番号:)) ○ 行わない 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) スタッ、ランナー等の種類 ○ 図示 材料 ○ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>マーブル</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>半硬質ビニル床タイル</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 帯電防止床シート又は床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 視覚障害者用床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 耐動荷重性床シート <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 防滑性床シート又は床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>マーブル</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ ゴム床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 工法 下地 ○ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 () ビニル床シート張り 熱溶接工法 ○ 適用する ・ 適用しない	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ	耐水用合板	ワラ	特類	2級	C-D		12															種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マーブル	2.5mm										種類の記号	厚さ	備考	半硬質ビニル床タイル	2.0mm								種類	性能	厚さ	備考													種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm								種類	性能	厚さ	備考													種類	性能	厚さ	備考	FS	マーブル	2.5mm										種類	厚さ	備考										8 カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1) (6.9.3)(b) (表6.9.2) (6.9.3)(c) (6.9.3)(d) (表6.9.2) (6.9.3)(e) (6.9.3)(f) (6.9.4)(e) 9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)～(表6.10.8) 10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2) (6.11.5) (表6.11.5) (6.11.6)(2) ① 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1) ② セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1) (6.13.2)(h) (6.13.3)(e)(3) (6.13.3)(g)(1) (表6.13.5) 1.3 壁紙張り (6.14.2)	・ 織じゅうたん <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様) ・ タフテッドカーペット <table border="1"> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td> <td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> ・ ニードルパンチカーペット <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td> <td></td> </tr> </table> ・ タイルカーペット <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル</td> <td>・ 500×500 ・ ()</td> <td>・ 6.5 ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:)) 敷き方 <table border="1"> <tr> <th>平場</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>()</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 市松敷き</td> <td>・ 模様流し</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し層仕上げ (平滑・防滑) ・ 厚膜流し層仕上げ (平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (平滑) ・ 釘留め工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 防湿処理 ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着工法 <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用) ・ 複合2種フローリング (直張用) ・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ なら ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット (直張用)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:) 塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ () 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 畳表替え セッコウボード <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ セッコウボード</td> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧セッコウボード</td> <td>○ トラバーチン模様</td> <td>○ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 木目模様 ・ 普通 ・ 立体模様</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ けい酸カルシウム板 ○ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td>○ タイプⅡ0.8FK</td> <td>○ 6 ○ 8 ○ 6</td> </tr> </table> 遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド 合板類の張付け ・ A種 ○ B種 セッコウボードの目地工法 ○ 継目処理 ○ 突付け ・ 目隠し 施工箇所 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table>	種別	パイルの形状	帯電性	品質の程度	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ ()	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()		種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ・ ()	・ 6.5 ・ ()	・ ()	平場	市松敷き	模様流し	()		・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用)				・ 複合1種フローリング (直張用) ・ 複合2種フローリング (直張用) ・ 複合3種フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()		・ モザイクパーケット (直張用)	・ ()	・ ()	・ ()	材種	種別	厚さ(mm)	○ セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)	天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	○ 化粧セッコウボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)	・ 木目模様 ・ 普通 ・ 立体模様	・ 9.5(準不燃) ・ 9	○ けい酸カルシウム板 ○ 化粧けい酸カルシウム板	○ タイプⅡ0.8FK	○ 6 ○ 8 ○ 6	施工箇所	品質	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃
	部材名称		樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																																																																																																												
耐水用合板	ワラ	特類	2級	C-D		12																																																																																																																																																																																																																														
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																	
FS	マーブル	2.5mm																																																																																																																																																																																																																																		
種類の記号	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																		
半硬質ビニル床タイル	2.0mm																																																																																																																																																																																																																																			
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																	
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																		
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																																																																																																																																																																																																			
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																	
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																	
FS	マーブル	2.5mm																																																																																																																																																																																																																																		
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																		
種別	パイルの形状	帯電性	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																	
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()																																																																																																																																																																																																																																
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																			
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																
	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ・ ()	・ 6.5 ・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																
平場	市松敷き	模様流し	()																																																																																																																																																																																																																																	
	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
材料	種別	樹種																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																																																																																																																																																																																																																		
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()																																																																																																																																																																																																																																		
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																																																																																																	
・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																																																																																																				
・ 複合1種フローリング (直張用) ・ 複合2種フローリング (直張用) ・ 複合3種フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()																																																																																																																																																																																																																																		
・ モザイクパーケット (直張用)	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
材種	種別	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																		
○ セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																		
	天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																		
○ 化粧セッコウボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 木目模様 ・ 普通 ・ 立体模様	・ 9.5(準不燃) ・ 9																																																																																																																																																																																																																																		
○ けい酸カルシウム板 ○ 化粧けい酸カルシウム板	○ タイプⅡ0.8FK	○ 6 ○ 8 ○ 6																																																																																																																																																																																																																																		
	施工箇所	品質	防火性能																																																																																																																																																																																																																																	
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																		
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																		
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																		
6 内装改修工事 ① 一般事項 (6.1.3)(b) (6.1.3)(c) (6.1.3)(f) ② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(a)(5) (6.2.2)(c) ③ 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2) ④ 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2) (6.5.2)(b)(1) (6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3) (6.5.2)(b)(3) (6.5.2)(c)(i) (6.5.2)(c)(ii) (6.5.2)(d)(i) (6.5.2)(d)(ii)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> </table> 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 () 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ○ 図示 () 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目隠し工法 床組の撤去 ・ (i) ・ (ii) 改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ () 表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>○ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table> 製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>○ 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 代用樹種の使用 ・ 禁止する ○ 禁止しない 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種 ・ 寸 法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚 さ</th> </tr> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ () 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>厚 さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示 (図面番号:)	・ 壁	・ 図示 (図面番号:)	・ 床	・ 図示 (図面番号:)	部材名称	種別	下地材	○ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用 針葉樹製材	○ 図示	・ ()	・ ()	造作用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	部 位	樹 種	県 産 材										部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)		・ ()	部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	訂正 特記 工事名称 津市立栗真小学校給食受入施設改修工事 図面内容 特記仕様書 3 縮尺 年月日 図面番号 A-03 枚/内 区分																																																																																																																																																																
改修部分	改修範囲																																																																																																																																																																																																																																			
・ 天井	・ 図示 (図面番号:)																																																																																																																																																																																																																																			
・ 壁	・ 図示 (図面番号:)																																																																																																																																																																																																																																			
・ 床	・ 図示 (図面番号:)																																																																																																																																																																																																																																			
部材名称	種別																																																																																																																																																																																																																																			
下地材	○ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																			
造作材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																			
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																																																																																																																																																																																	
下地用 針葉樹製材	○ 図示	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
造作用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
広葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
部 位	樹 種	県 産 材																																																																																																																																																																																																																																		
部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ																																																																																																																																																																																																																																	
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																																																																																																																		
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																																																																																																																		
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)		・ ()																																																																																																																																																																																																																																	
部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																	
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																	

⑥ 内装改修工事	14 モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:)	⑧ の 3 耐震改修工事 鉄筋工事	8 つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面 木部 (屋内) 鉄鋼面 (屋内) 亜鉛めっき鋼面 (屋内)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	① 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による 種別 径(mm) ○ SD295A D10、D13 ・ SD345 ・ SD390 ・ ()
	15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地位置 ・ 図示 (図面番号:)		9 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ・ ()	② 溶接金網 (8.2.2)		網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)	③ 加工 (8.3.2)
⑦ 塗装改修工事	(6.16.3)(b)(1)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない	⑧ の 1 耐震改修工事 共通事項	10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-1) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種	⑧ の 2 耐震改修工事 撤去工事	④ 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ○ D16以下 ガス圧接 ・ D19以上	
	16 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm		11 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種		⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)	軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ () mm 耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等) ○ 無し ・ 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ () mm	⑥ 各部配筋
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種	種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム	⑧ の 2 耐震改修工事 撤去工事	12 ラッカーエナメル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種	⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	7 ガス圧接 (8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない	
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)	種類 厚さ [mm] 施工箇所 ・ A種 1 ・ A種 2 ・ A種 3		13 木造保護塗料塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種		⑧ 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	・ 機械式継手 種類 () 工法 () 修正方法 () 品質の確認方法 () 鉄筋相互のあき () mm ・ 溶接継手 工法 () 修正方法 () 品質の確認方法 () 鉄筋相互のあき () mm	
⑦ 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3)(b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	⑧ の 2 耐震改修工事 撤去工事	① 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事	⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	⑧ (コンクリート工事一般事項)	コンクリートの種別 ○ I類 ・ II類	
	② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR B種の場合) ○ 図示		① 既存部分の撤去等 (8.21.2)	工事種別 ○ 鉄筋工事 ○ あと施工アンカー工事 ○ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事 ・ 基礎工事		① コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F _c [N/mm ²] 適用範囲 ○ 21 土間CON 2.3t/m ³ 程度 ○ (18) 捨てCON	③ コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)
③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種	撤去の範囲 ○ 図示 ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 ・ () 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ○ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 ・ () 撤去範囲 ○ 図示	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず残す ・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する ・ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ○コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する ○切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	
④ 合成樹脂調合ベイント塗り (SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)	塗料種別 ○ 1種 ・ () 種別 下地 種別 ○ 木部 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ○ 鉄鋼面 ○ A種 ・ B種 ・ C種 ○ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種	撤去範囲 ○ 図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず残す ・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する ・ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ○コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する ○切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	はつりだした鉄筋の処置 ○ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 ・ () はつりだした鉄骨の処置 ・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。 ・ () 既存構造体コンクリート面の表面目荒らし 目荒らし程度 ・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ・ 図示 (図面番号:)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	
5 クリヤラッカー塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種	既存部分の処理 3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	
⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ○ B種	既存部分の処理 3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	
7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系) 下地 種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ B-2種 ・ B-1種 ・ C-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	既存部分の処理 3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	③ 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	

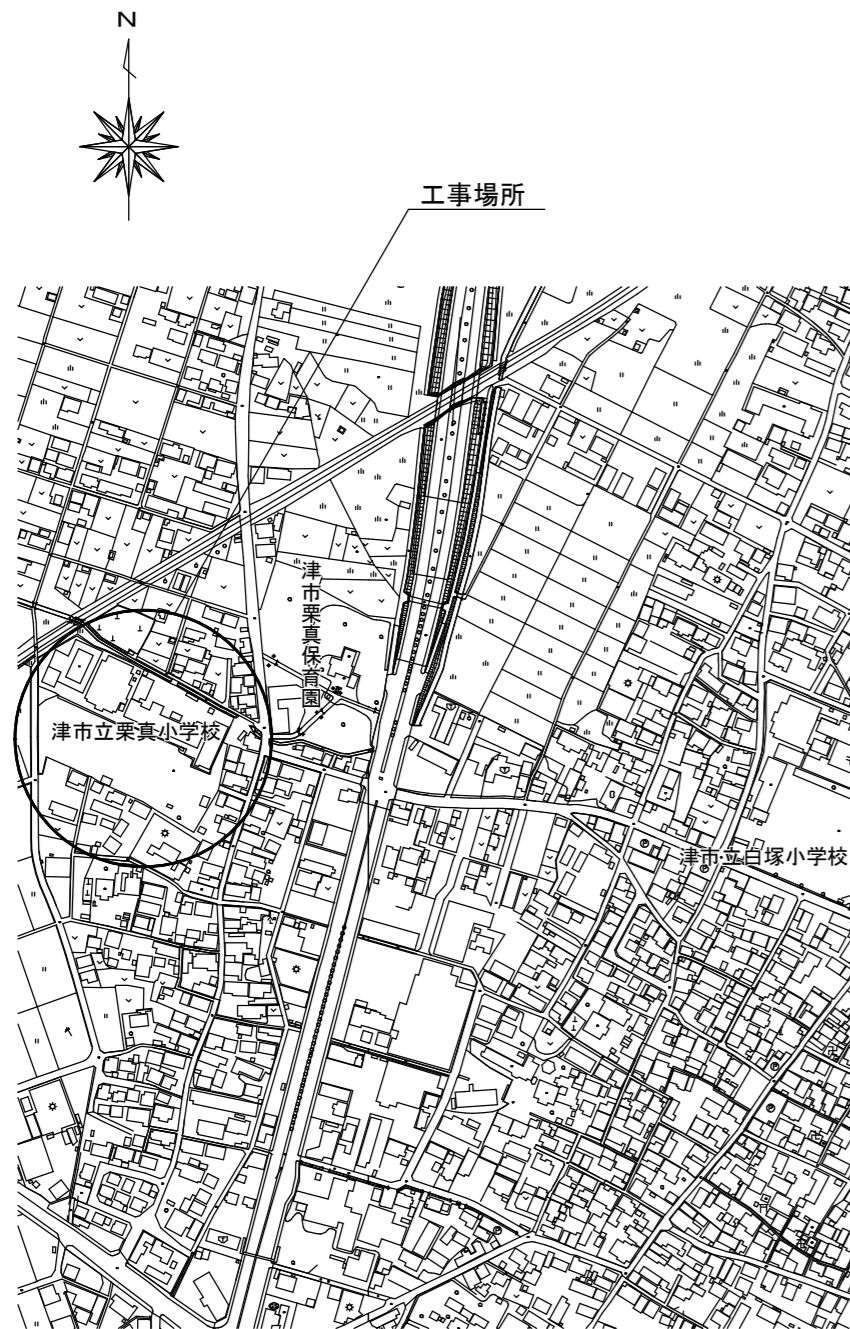
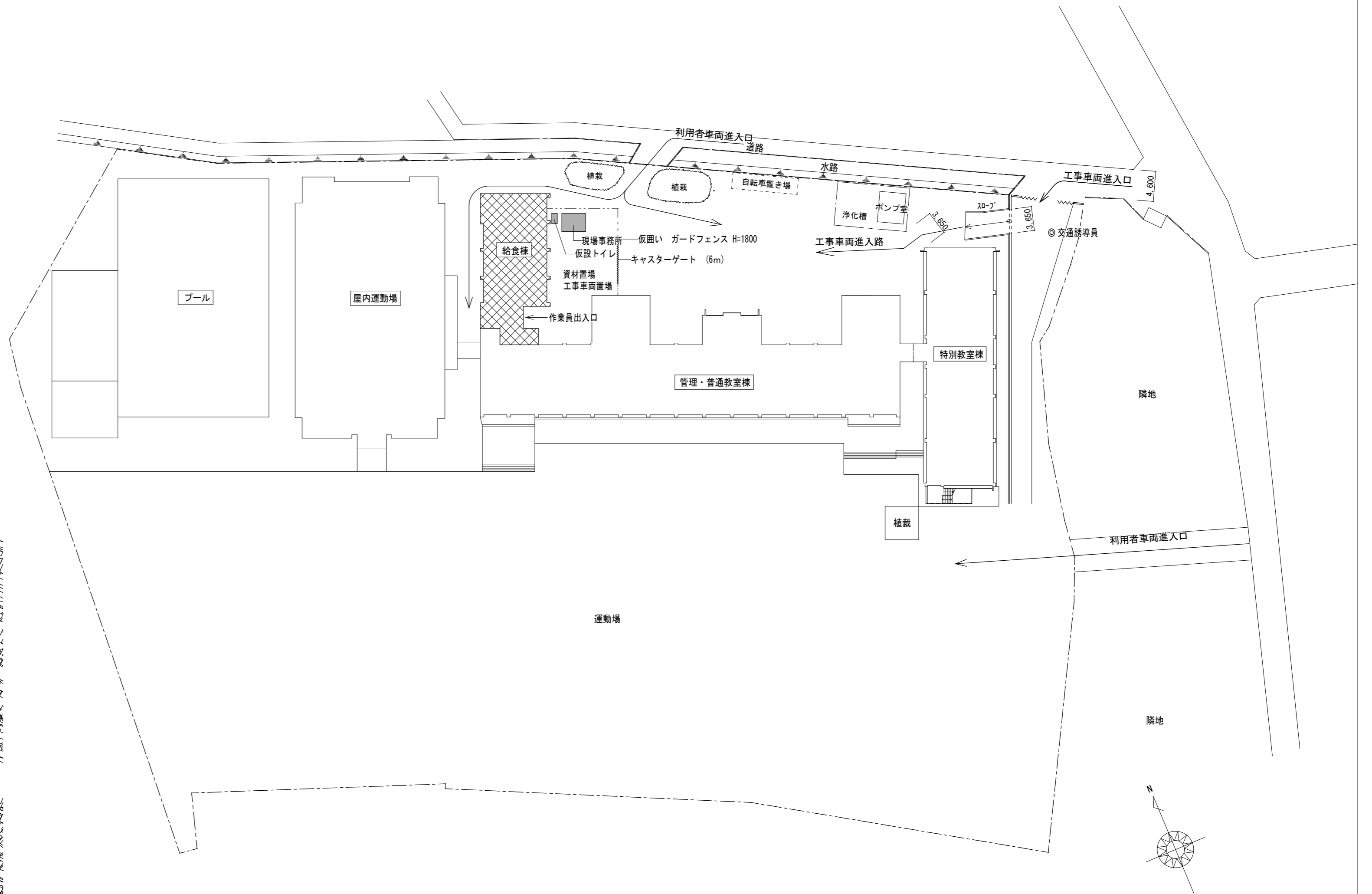
原図: A 2

	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大田登録 第327163号 萩原 正洋	訂正	特記	工事名称 津市立栗真小学校給食受入施設改修工事	図面内容 特記仕様書 4 縮尺 ー 年月日	図面番号 A-04 枚ノ内 区分
---	--	----	----	--------------------------------	---------------------------------	------------------------

<p>⑧の4 耐震改修工事 コンクリート工事</p> <p>④ 混和材料 (8.2.5)</p> <p>⑤ 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p> <p>⑥ 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>7 量中コンクリート (8.10.2)</p> <p>8 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>9 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p> <p>(8.23.6)</p> <p>10 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p>	<p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>○ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制)</p> <p>・ A (安全と認められる骨材を使用)</p> <p>なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <p>・ 特殊な骨材の使用</p> <p>・ フェロニッケルスラグ細骨材</p> <p>・ 鋼スラグ細骨材</p> <p>・ 電気炉酸化スラグ骨材</p> <p>・ 再生骨材H</p> <p>○ 混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <p>○ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(i)による</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>・ 混和材の種類</p> <p>混和剤の種類</p> <p>・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(ii)による</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>構造体強度補正值(S)</p> <p>・ 3N/mm² ・ 6N/mm² ○改修標準(仕様書表8.2.4)による</p> <p>材料</p> <p>○ 複合板(厚さ○12mm ・ ())</p> <p>スリーブ</p> <p>・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による</p> <p>・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による</p> <p>・ 材種() 規格()</p> <p>構造体強度補正值(S)</p> <p>・ 6N/mm² ・ ()</p> <p>構造体強度補正值(S)</p> <p>・ 18N/mm² ・ ()</p> <p>スランブ</p> <p>・ 15cm ・ 18cm ・ ()</p> <p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <p>・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む</p> <p>()</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <p>・ 図示(図面番号:) ・ 60mm ・ ()</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	<p>(あと施工アンカー)</p> <p>① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)</p> <p>種類</p> <p>○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 (○ 改良型 ・ 従来型)</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>接合筋の種類・径・長さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>穿孔</p> <p>埋込み配管等の探索の方法</p> <p>・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。</p> <p>・ はつり出しによる。</p> <p>・ ()</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ○ 実施しない</p> <p>確認試験方法</p> <p>・ 改修標準仕様書(8.11.5)による ・ ()</p> <p>確認強度</p> <p>・ ()</p> <p>場所打ちコンクリート壁の新設工事)</p> <p>3 シアコネクタ</p> <p>場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ</p> <p>種類</p> <p>・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>径[mm] ・ D10</p> <p>長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ ()</p> <p>影込み深さ[mm] ・ 5d(d:シアコネクタの径)以上 ・ ()</p> <p>間隔[mm] ・ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()</p>	<p>⑧の5 耐震改修工事</p> <p>あと施工アンカー工事</p> <p>8の6 耐震改修工事</p> <p>鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (8.1.5)</p> <p>2 施工管理技術者 (8.1.5)</p> <p>3 鋼材 (8.2.8)</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <p>8の7 耐震改修工事</p> <p>グラウト工事</p> <p>1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.11) (表8.2.5) (表8.2.10)</p> <p>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)</p> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)</p> <p>8の8 耐震改修工事</p> <p>柱補強工事</p> <p>(連続繊維補強工事)</p> <p>1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)</p> <p>2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.23.6)</p> <p>3 連続繊維シートの施工準備</p> <p>連続繊維による補強、補修工法</p> <p>・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。</p> <p>・ ()</p> <p>連続繊維の材料</p> <p>・ ()</p> <p>工法</p> <p>・ ()</p> <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <p>・ ()</p> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <p>・ ()</p> <p>仕上げモルタルの除去</p> <p>・ 既存構造体面まで除去する</p> <p>・ モルタル除去は行わない</p> <p>・ ()</p>	<p>8の9 耐震補強工事</p> <p>スリット新設工事</p> <p>免震改修工事</p> <p>8の10 その他工事</p> <p>9 環境配慮改修工事</p>	<p>(耐震スリット新設工事)</p> <p>1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)</p> <p>付着強度試験</p> <p>・ 実施する (JIS A6909に準拠する)</p> <p>試験数量 ()</p> <p>・ 実施しない</p> <p>耐震スリットの種類及び形状</p> <p>完全スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>部分スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さ</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ts(mm)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1 基礎工事 (8.28.2) (8.28.3)</p> <p>既存杭の撤去</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>埋戻し及び盛土の材料及び工法</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>建設発生土の処理</p> <p>・ 自由処分</p> <p>・ 処分地指定 処分地()</p> <p>・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km</p> <p>山留めの撤去</p> <p>・ 撤去</p> <p>・ 存置</p> <p>1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)</p> <p>施工調査</p> <p>・ アスベスト含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲</p> <p>・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>・ 分析によるアスベスト含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クロソライト、トシモライト</p> <p>分析方法</p> <p>・ JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による</p> <p>・ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による</p> <p>・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線析定量分析方法)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>・ アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>測定</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>測定</td> <td>責任・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>測定</td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ・ ()</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 10 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 120 ・ ()</td> <td>・ 240 ・ ()</td> </tr> </tbody> </table>		一般型	一面せん断型		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()		目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下		ts(mm)	・ ()	・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい		材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2	測定	調査対象室外部の付近	計点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4	測定	責任・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計点	・	測定5	測定	処理作業室外(敷地境界)	計点	・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点	・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点		測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	メンレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()	試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()
	補強工法	打設工法	部位																																																																																																																																																			
	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																			
		・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																			
・ 工法指定なし		・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
・ ()		・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
	一般型	一面せん断型																																																																																																																																																				
記号																																																																																																																																																						
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																				
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																																																																																																																																				
	片側スリット	両面スリット																																																																																																																																																				
記号																																																																																																																																																						
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																				
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																				
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下																																																																																																																																																				
ts(mm)	・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい																																																																																																																																																				
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																				
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																		
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																																		
・	測定2	測定	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																		
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																																		
・	測定4	測定	責任・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計点																																																																																																																																																		
・	測定5	測定	処理作業室外(敷地境界)	計点																																																																																																																																																		
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																		
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点																																																																																																																																																		
・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																		
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																																																																																																																			
メンレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																																																			
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()																																																																																																																																																			
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()																																																																																																																																																			


原図: A 2

	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大丘登録 第327163号 萩原 正洋</p>	<p>訂正</p>	<p>特記</p>	<p>工事名称</p> <p>津市立栗真小学校給食受入施設改修工事</p>	<p>図面内容</p> <p>特記仕様書 5</p> <p>縮尺 ー 年月日</p>	<p>図面番号</p> <p>A-05</p> <p>枚/内 区分</p>
--	--	-----------	-----------	---------------------------------------	--	---------------------------------------



附近見取図

配置図兼仮設計画図 S=1/500

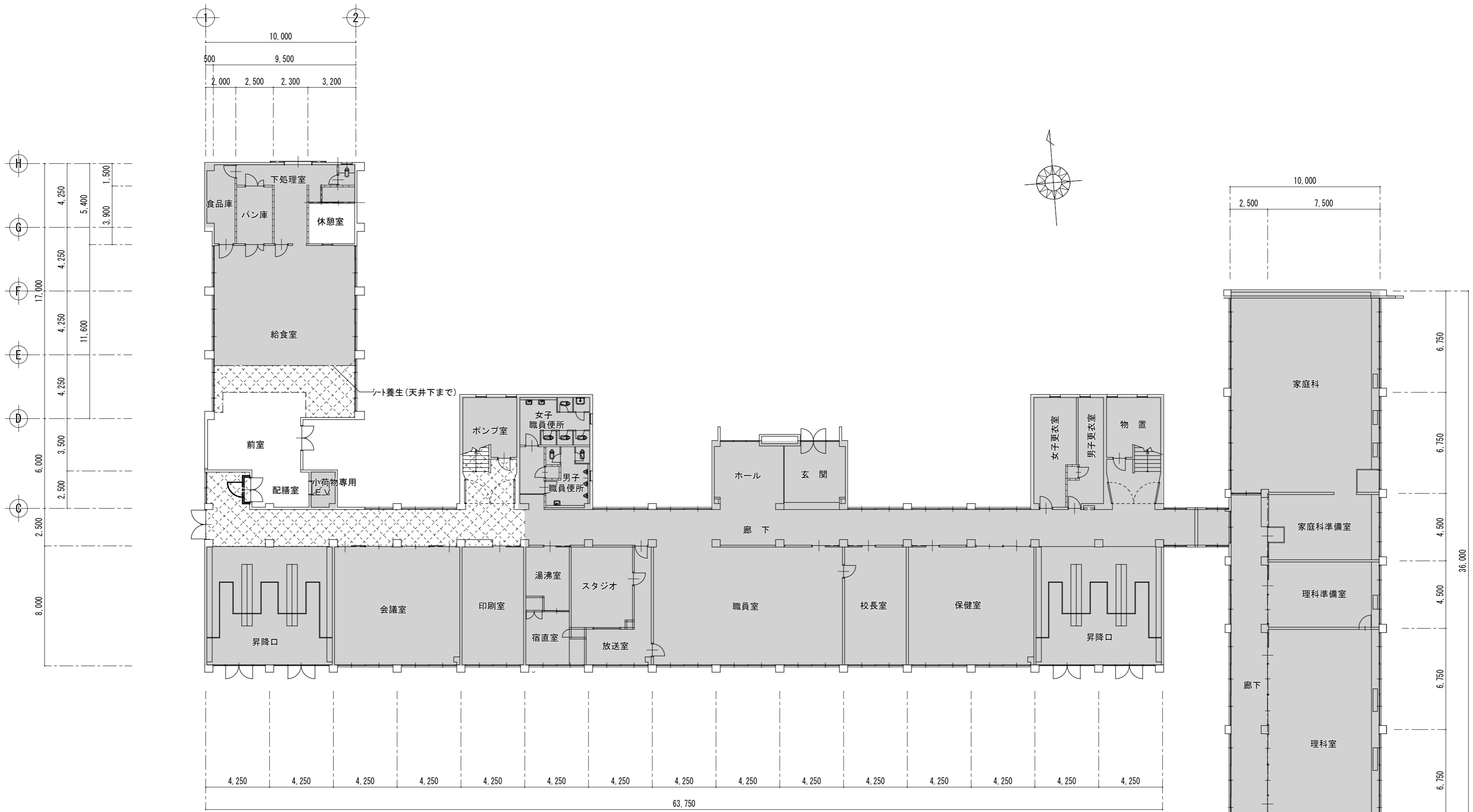
■ 凡例
 改修建物を示す

原図：A2

□ 仕上表

内部仕上表								
階	室名		床	巾木	壁	天井	天井高	備考
1階	給食室	改修前	モルタル仕上げ t=30【既設のまま】	モルタル VP塗【既設のまま】	モルタル押入 VP塗【既設のまま】 100角タイル貼【既設のまま】	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗 (一部撤去)	2.630	
	給食室	改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】 けい酸加珪板 t=8 (素地のまま) (新設)	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗【既設のまま】 LGS下地 けい酸加珪板 t=6 NAD塗 (新設)	2.630	
	前室	改修前	モルタル仕上げ t=30 (撤去)	モルタル VP塗【既設のまま】	モルタル押入 VP塗【既設のまま】 100角タイル貼【既設のまま】	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗 (撤去)	2.630	
	新配膳室	改修後	モルタル下地 ビニル床シート t=2.5 (新設) モルタル下地 ビニル床シート (防滑) t=2.5 (新設)	モルタル木 NAD塗替え ソト巾木 H=300 (新設)	モルタル押入 NAD塗替え 100角タイル貼【既設のまま】 けい酸加珪板 t=6 (二重張り) NAD塗 (新設)	LGS下地 化粧PBT9.5 (新設)	2.630	
	配膳室	改修前	モルタル仕上げ t=30 (撤去)	モルタル VP塗【既設のまま】	モルタル押入 VP塗【既設のまま】	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗【一部撤去】	2.630	
	配膳室	改修後	モルタル下地 ビニル床シート t=2.5 (新設)	モルタル木 NAD塗替え	モルタル押入 NAD塗替え	木下地 けい酸加珪板 t=6 NAD塗替え LGS下地 けい酸加珪板 t=6 NAD塗 (新設)	2.630	小荷物専用EV扉 SOP塗替え
	休憩室	改修前	畳敷き (撤去)	畳寄せ【既設のまま】	モルタル押入 ジョイント吹付【既設のまま】	木下地 化粧PBT9.5 目透し張【既設のまま】	2.440	
	休憩室	改修後	畳敷き (新設)	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	2.440	
2階	配膳室	改修前	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0【既設のまま】	ソト巾木 H=100 (撤去)	モルタル押入 VP塗【既設のまま】	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗 (一部撤去)	2.630	
	配膳室	改修後	【既設のまま】	ソト巾木 H=100 (新設)	モルタル押入 NAD塗替え	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗【既設のまま】 LGS下地 けい酸加珪板 t=6 NAD塗 (一部新設)	2.630	小荷物専用EV扉 SOP塗替え
3階	配膳室	改修前	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0【既設のまま】	ソト巾木 H=100 (撤去)	モルタル押入 VP塗【既設のまま】	木下地 けい酸加珪板 t=6 VP塗【既設のまま】	2.630	
	配膳室	改修後	【既設のまま】	ソト巾木 H=100 (新設)	モルタル押入 NAD塗替え	【既設のまま】	2.630	小荷物専用EV扉 SOP塗替え、点検扉 SOP塗替え
備考								

原因: A2



- 凡例
- 工事範囲外
 - 床養生 (シ+↑+↑=7敷き)
 - 仮設間仕切り (天井までH=2630) 片開き扉 (鍵付)
LGS50+片面PBT=9.5 素地仕上げ 目張り共

1階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図 S=1/200

原図: A 2

訂正

特記

工事名称

津市立栗真小学校給食受入施設改修工事

図面内容

1階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図

縮尺 S=1/200

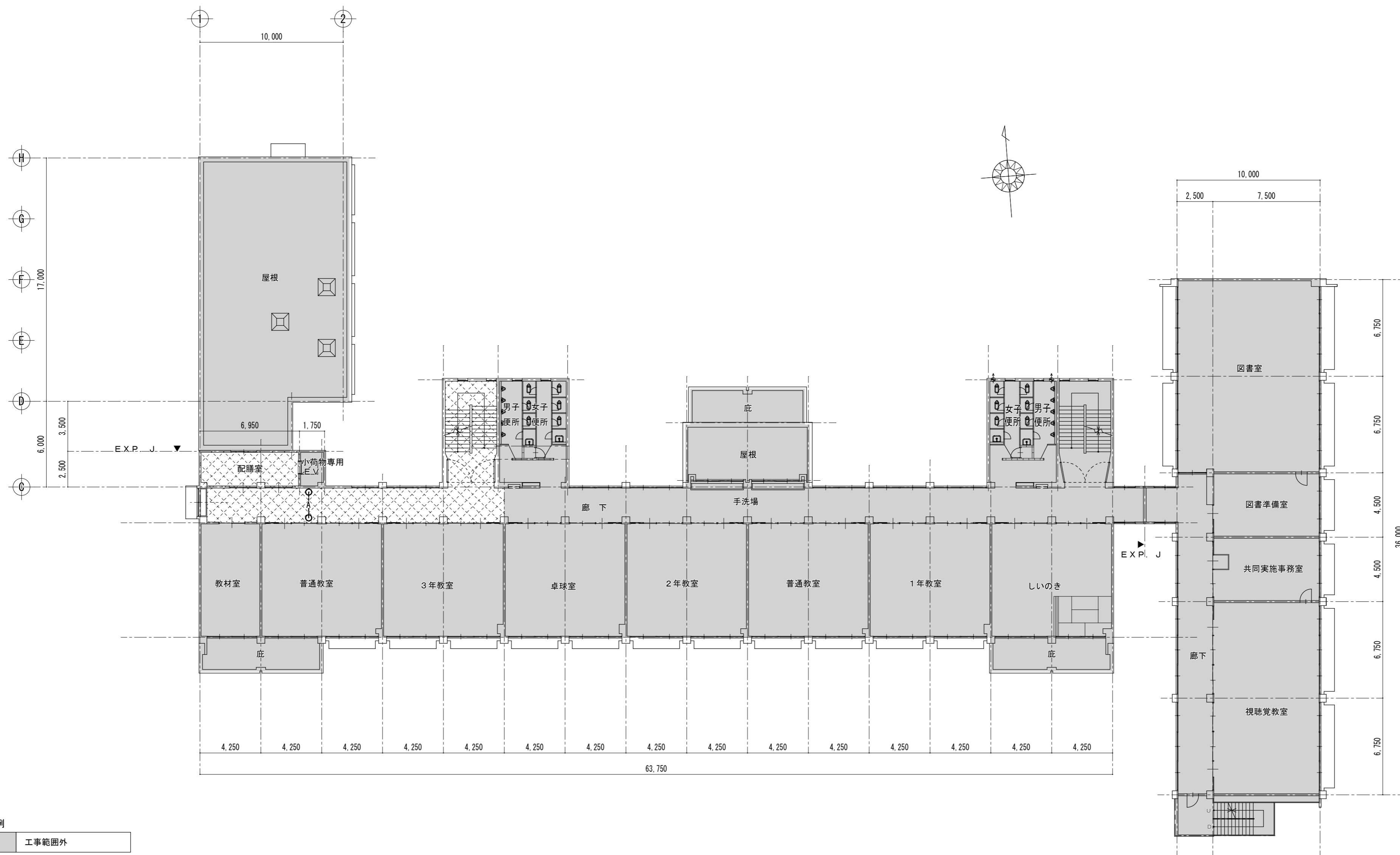
年月日

図面番号

A-08

枚/内

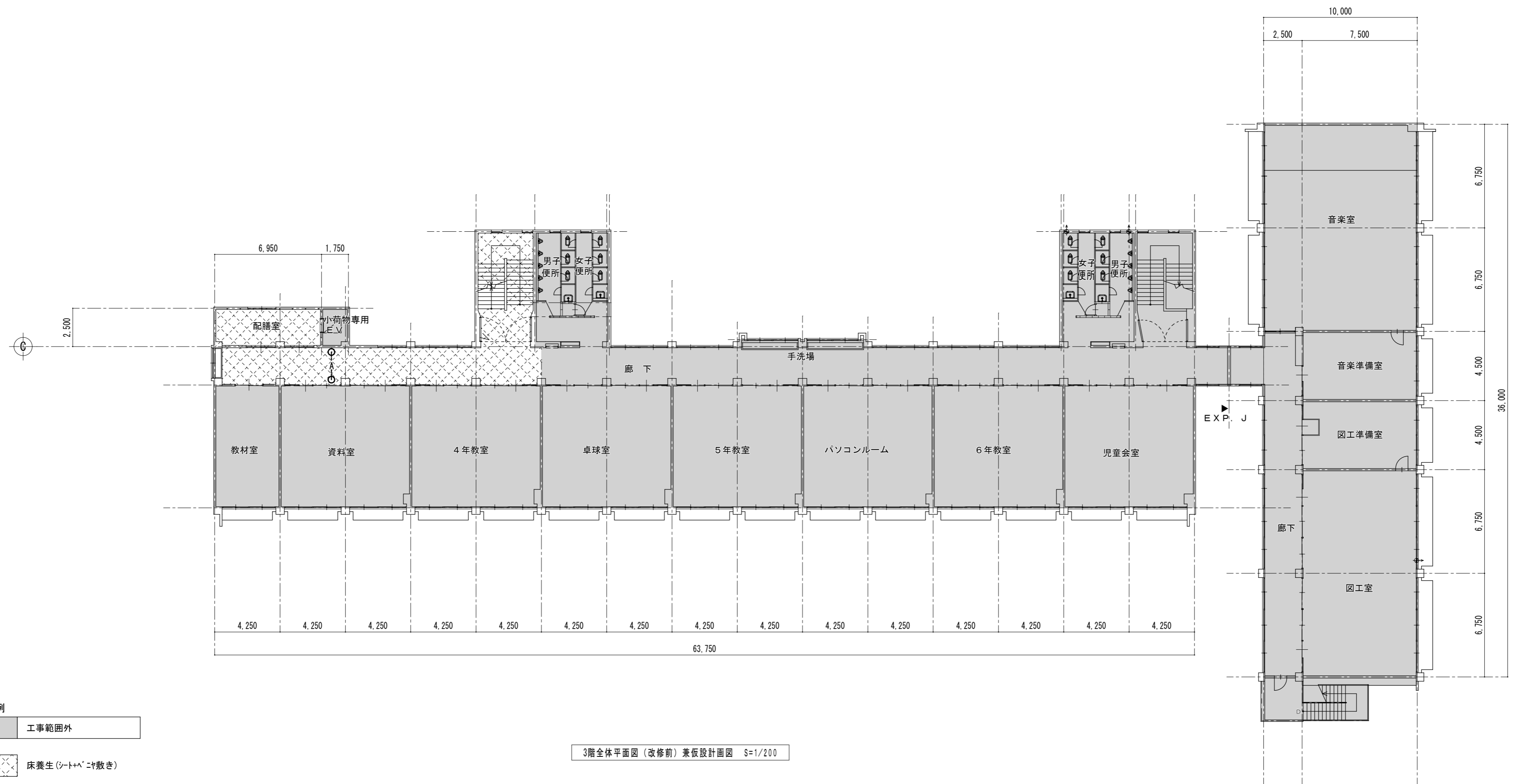
区分



2階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図 S=1/200

- 凡例
- 工事範囲外
 - 床養生 (シ+ト+ハ'ニ散き)
 - A-○ A型ハ'リカー

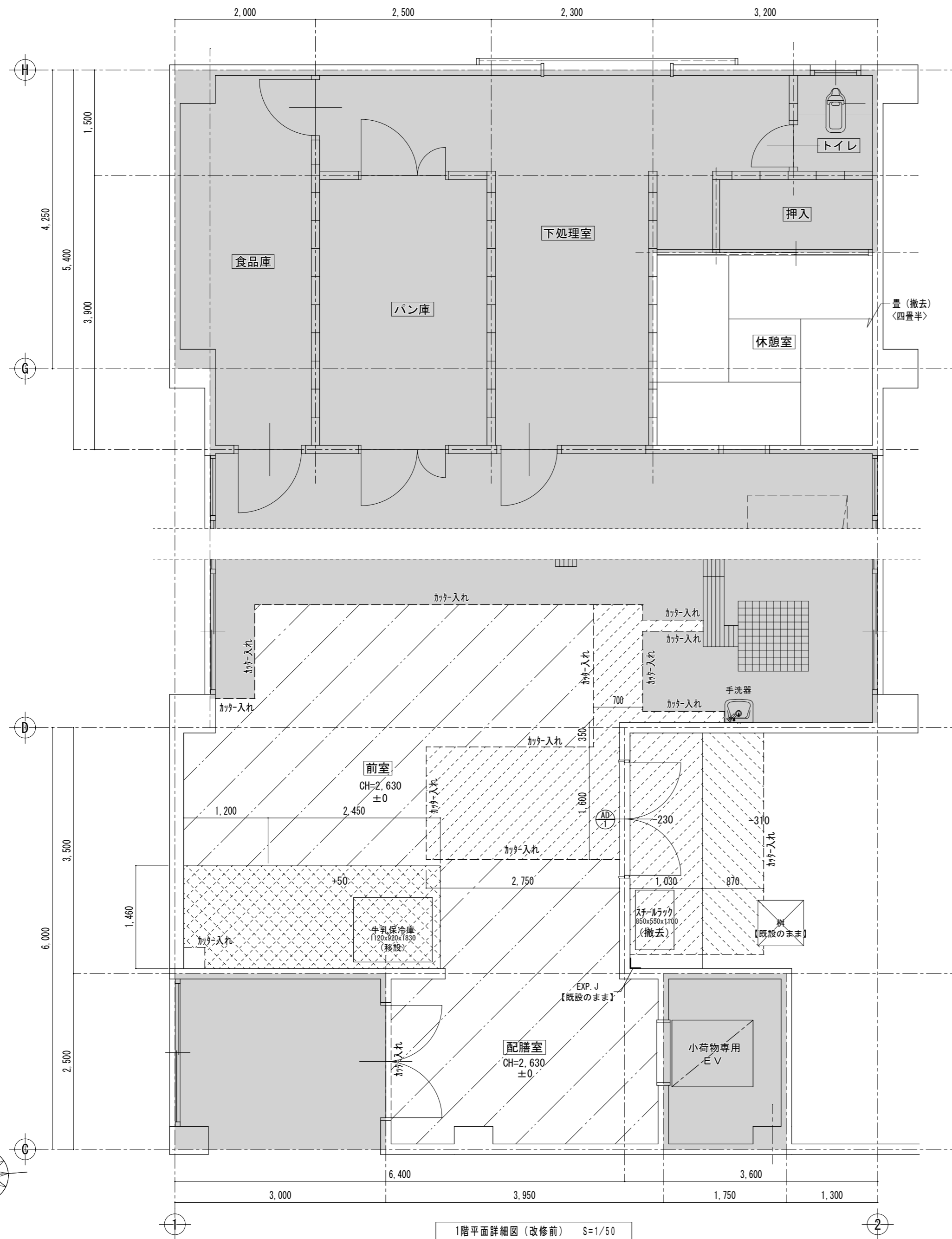
原図: A 2



- 凡例
- 工事範囲外
 - 床養生(シート+ベニヤ敷き)
 - A-○ A型ハリード

3階全体平面図(改修前)兼仮設計画図 S=1/200

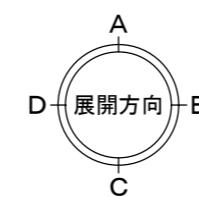
原図: A 2



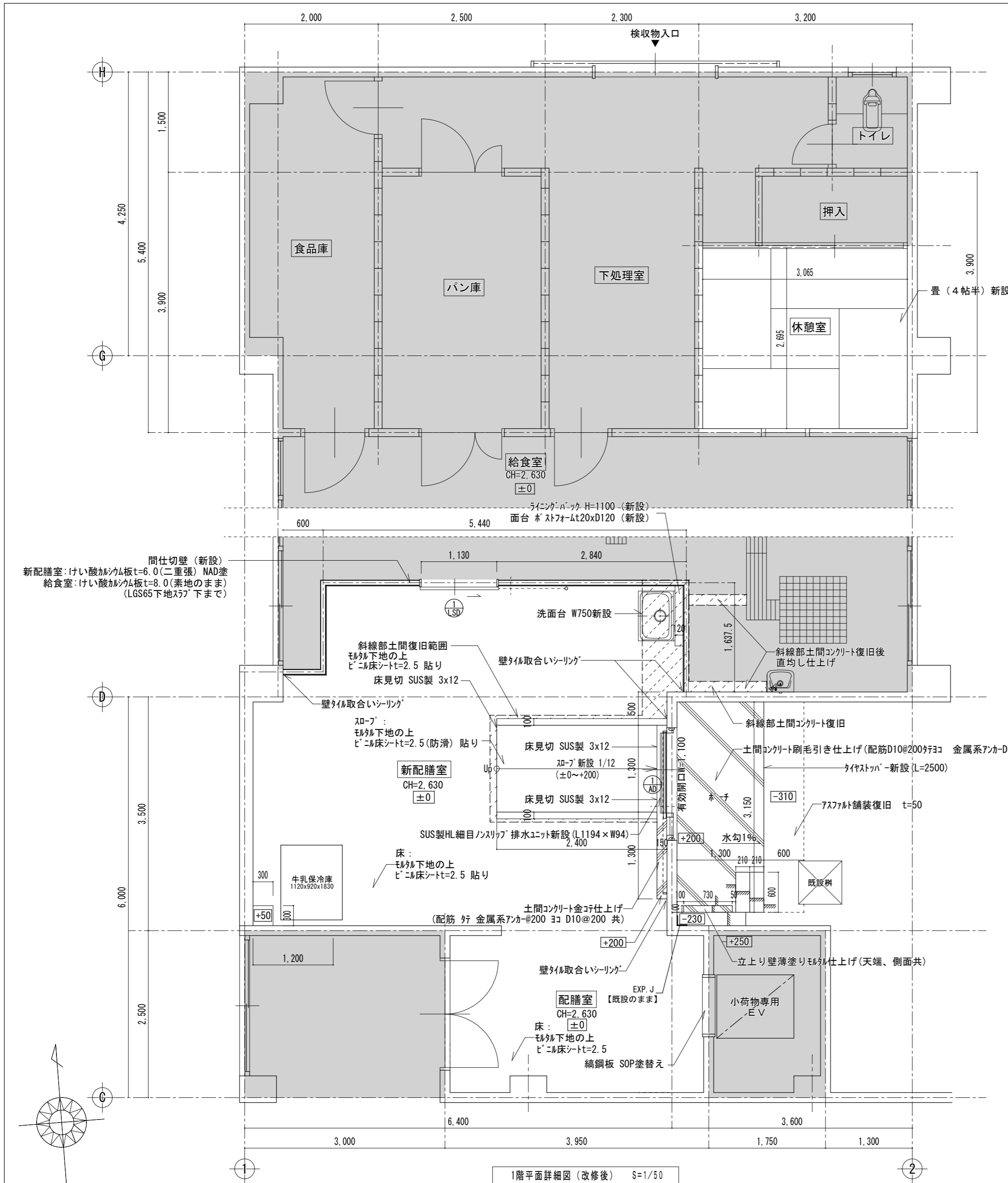
符号・数量	AD 1	1 箇所
姿 図	<p>撤去 ※枠、木額縁はそのまま</p>	
型 式・見 込	アルミ製両開きドア	D7厚35
材 質	アルミ	
仕 上	電解着色	
ガ ラ ス		
金 物	シングル錠、丁番	
備 考	SUS沓摺 (撤去)	

【凡例】

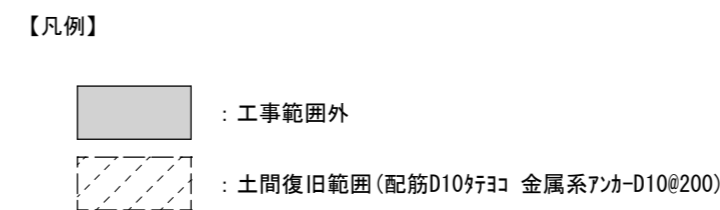
- : 鉄骨撤去 t=30
- : 土間コンクリート撤去 t=150
- : 鉄骨梁台撤去 t=50
- : 7スリット舗装撤去 t=50
- : 工事範囲外



原図 : A 2

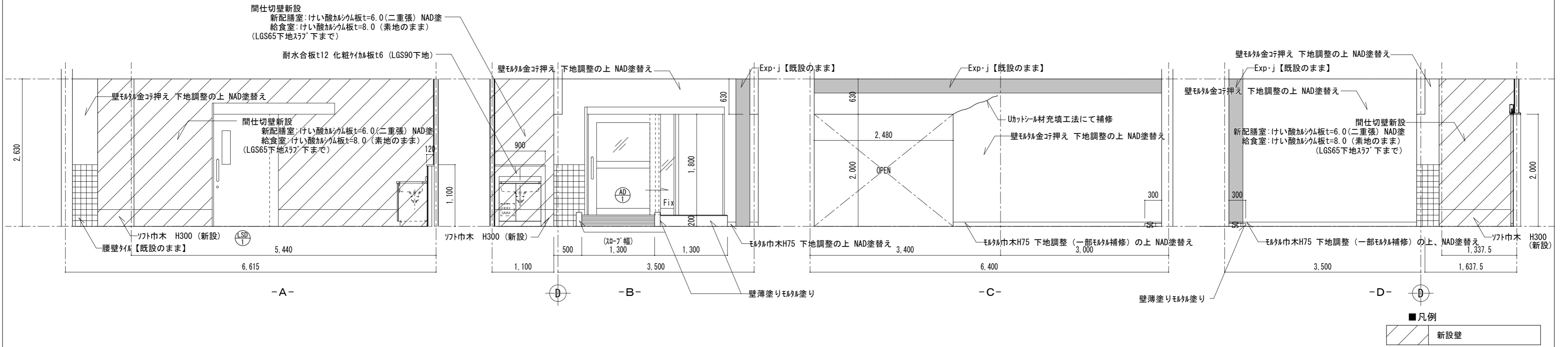


符号・数量	AD	1か所	LSD	1か所
姿 図	新設	加'-工法	新設	
型 式・見 込	アルミ製ハンガー枠ドア(内動) + Fix	ドア厚40	軽量スチールハンガードア	ドア厚85
材 質	アルミ		化粧鋼板(0.6)、芯材(ハ'-ハ'-17)	
仕 上	電解着色		溶融亜鉛メッキ+焼付塗装	
ガ ラ ス	型板強化t=4.0		型板強化t=4.0	
金 物	引手、ハンガ'-吊車、ステンスレール、他必要金物一式		引手、ハンガ'-錠(キ-/サムターン)、ハンガ'-レール、他必要金物一式、ガイド'-ローラ、引棒(SUS製)自閉(レール傾斜)式、ストップ付	
備 考			スチール枠焼付塗装、SUS沓摺、戸当り	

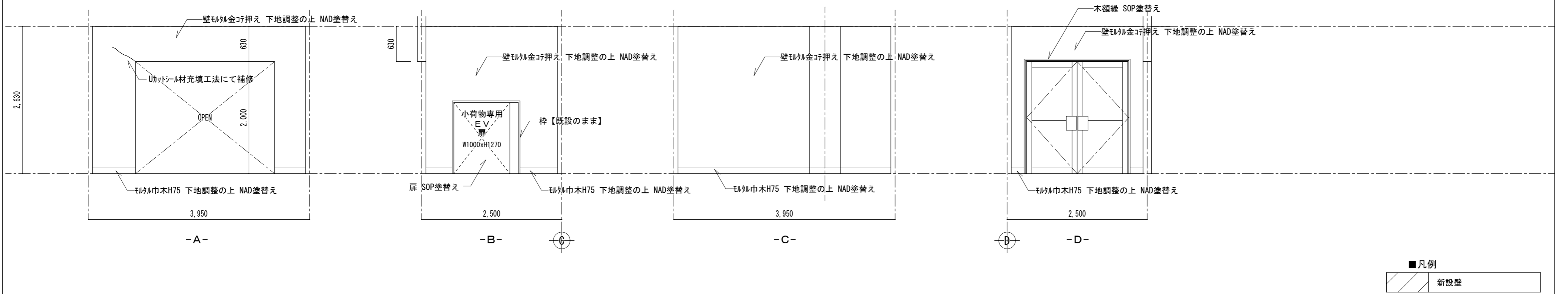


原図: A 2

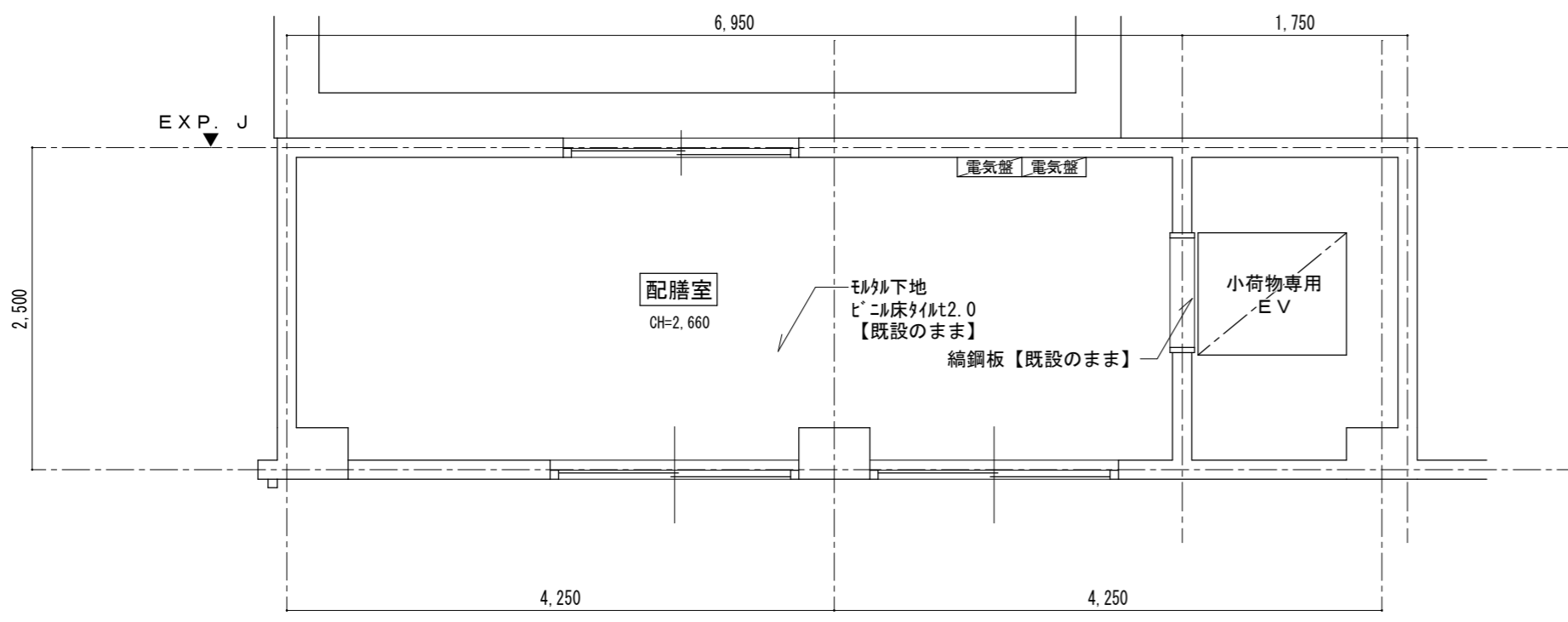
新配膳室展開図 (改修後) S=1/50



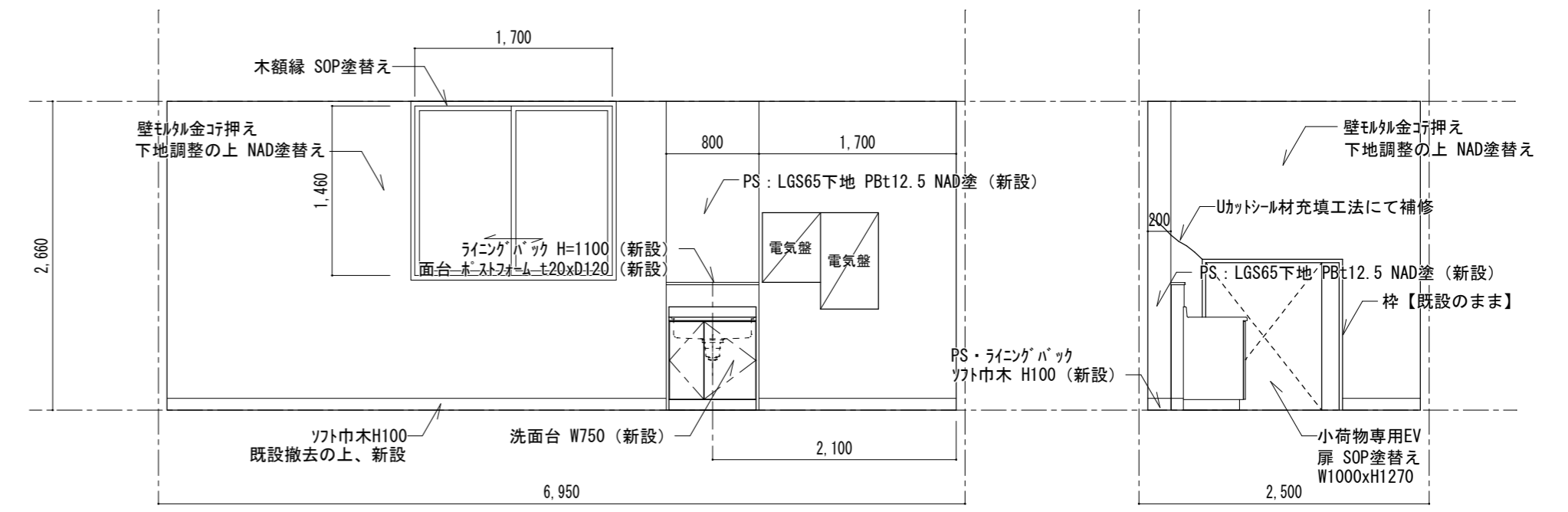
既設配膳室展開図 (改修後) S=1/50



原図: A 2

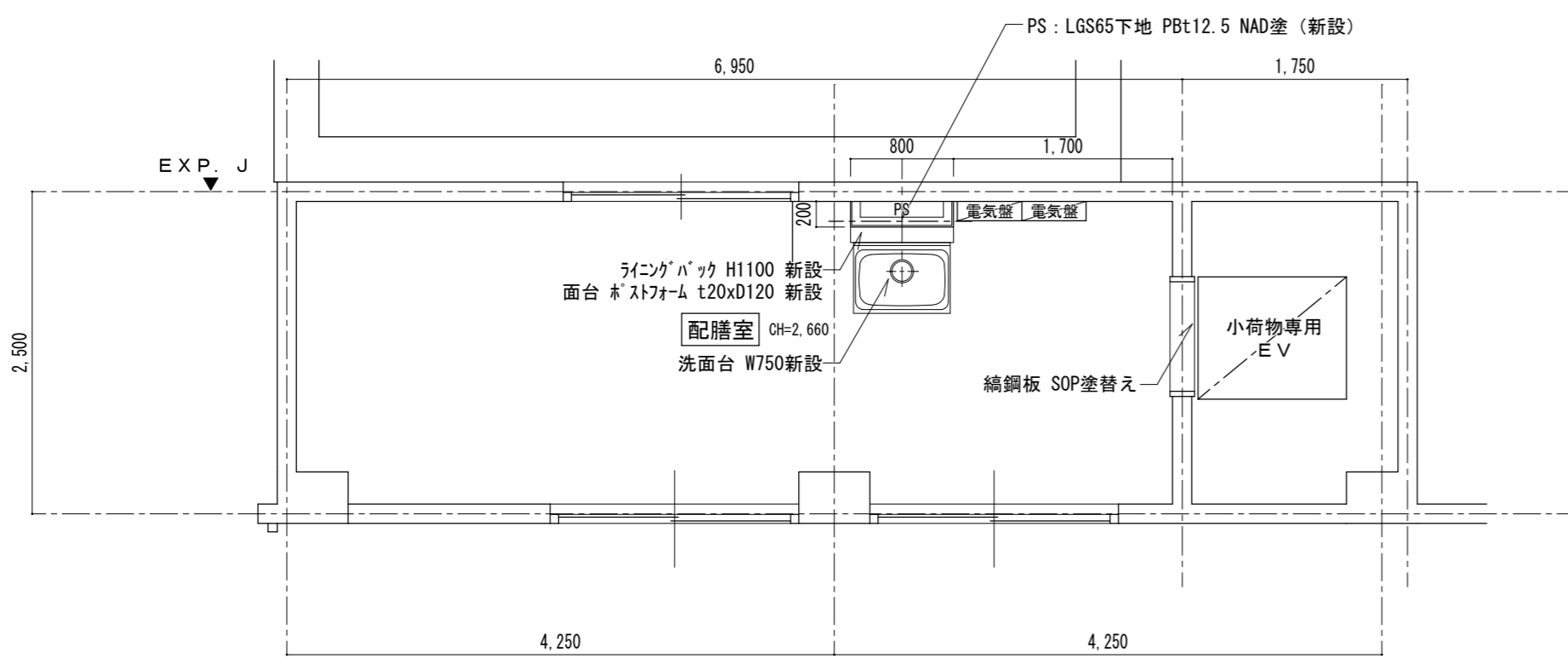


2階配膳室平面詳細図 (改修前) S=1/50

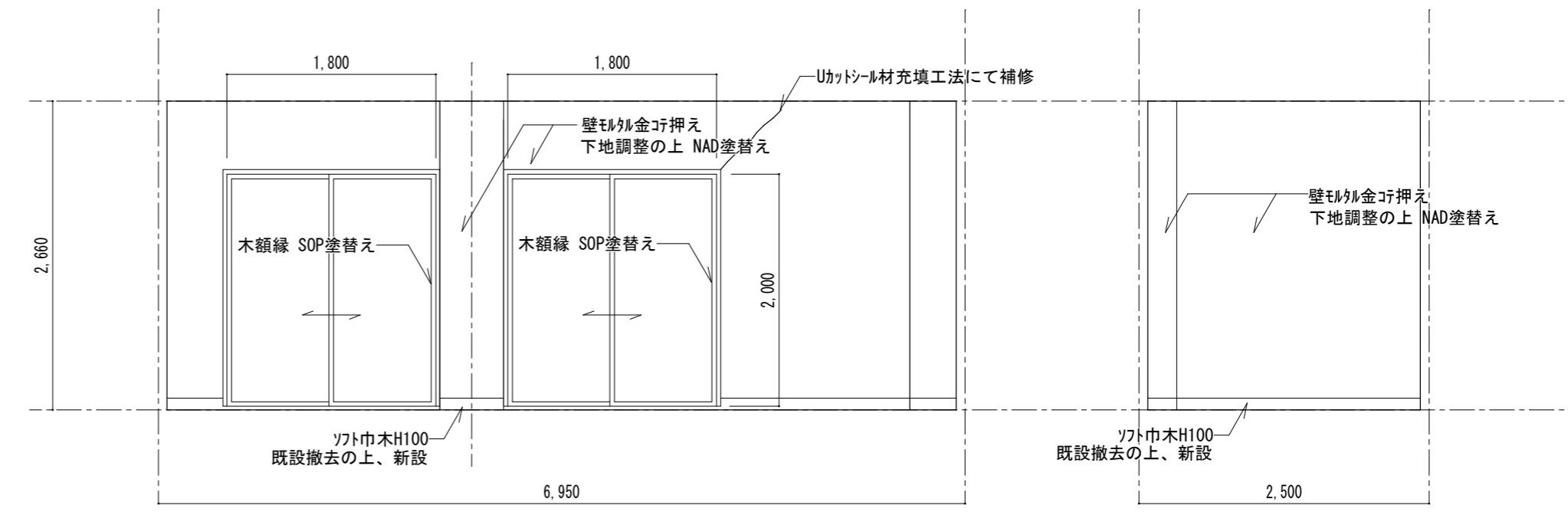


-A-

-B-



2階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50

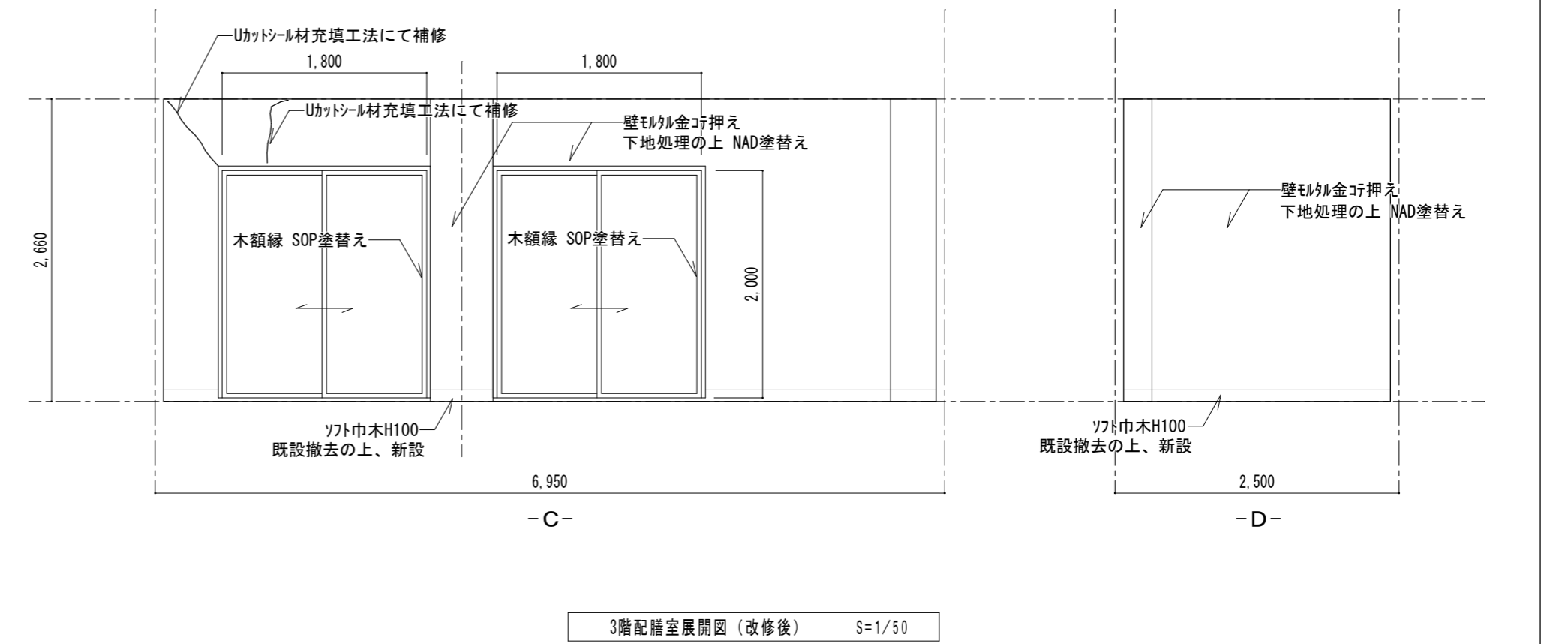
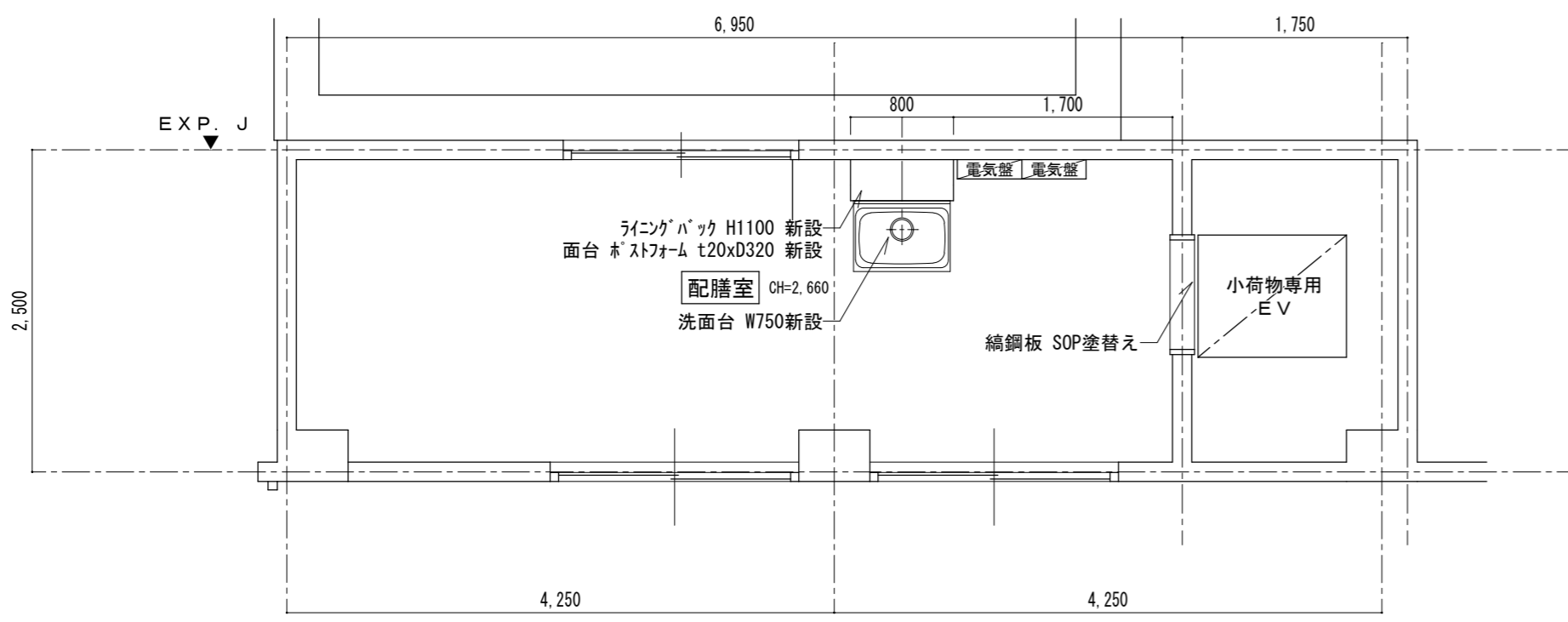
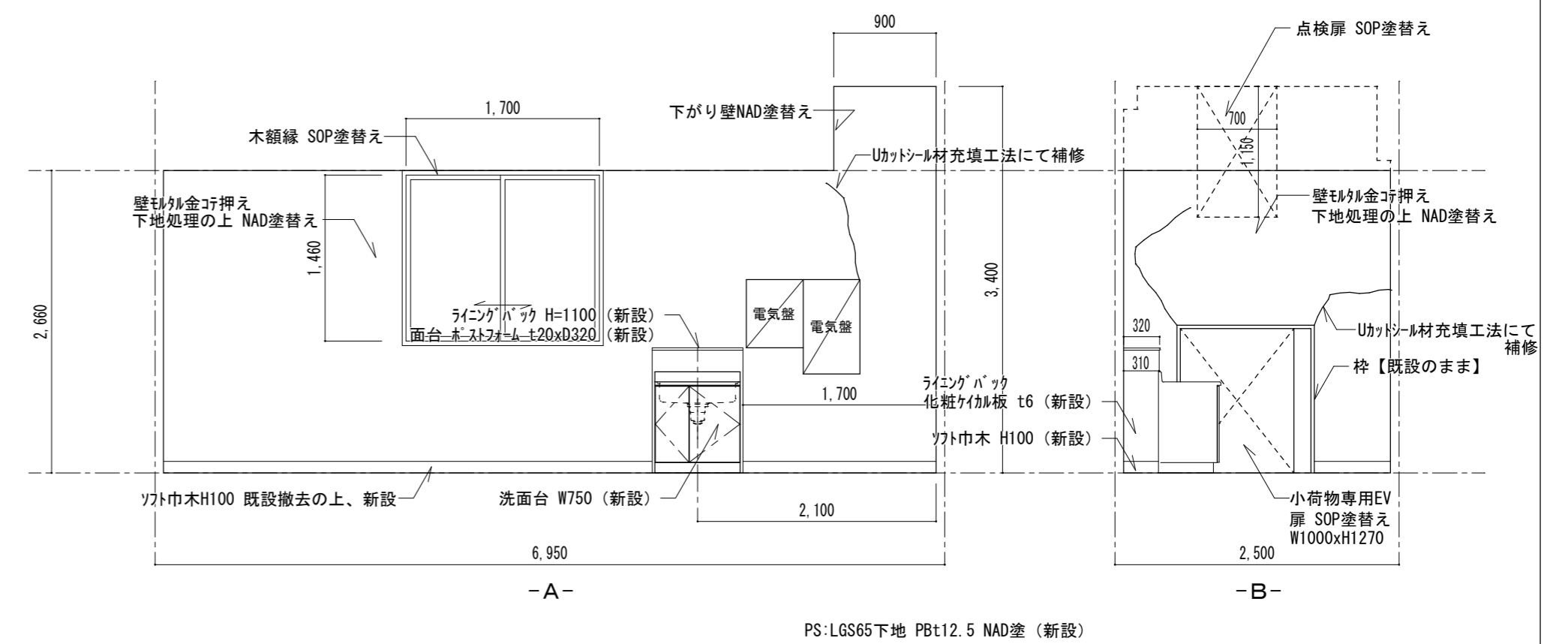
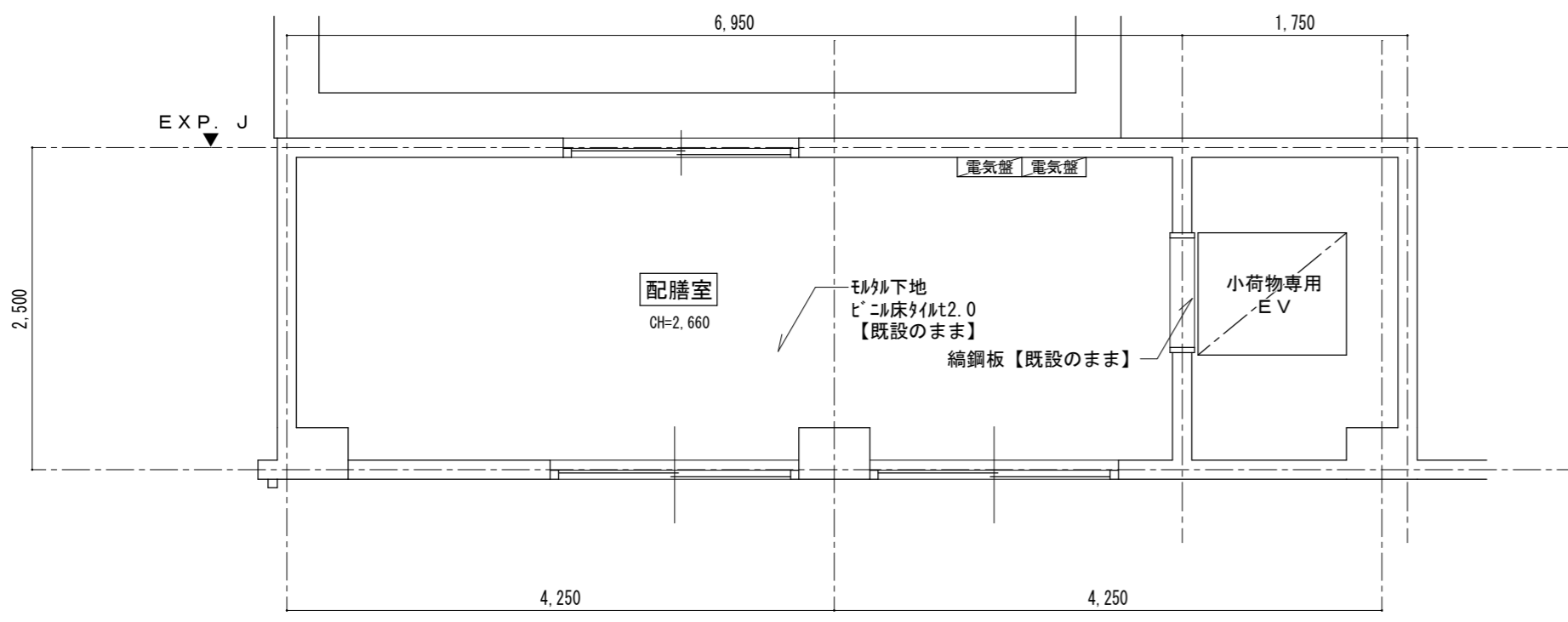


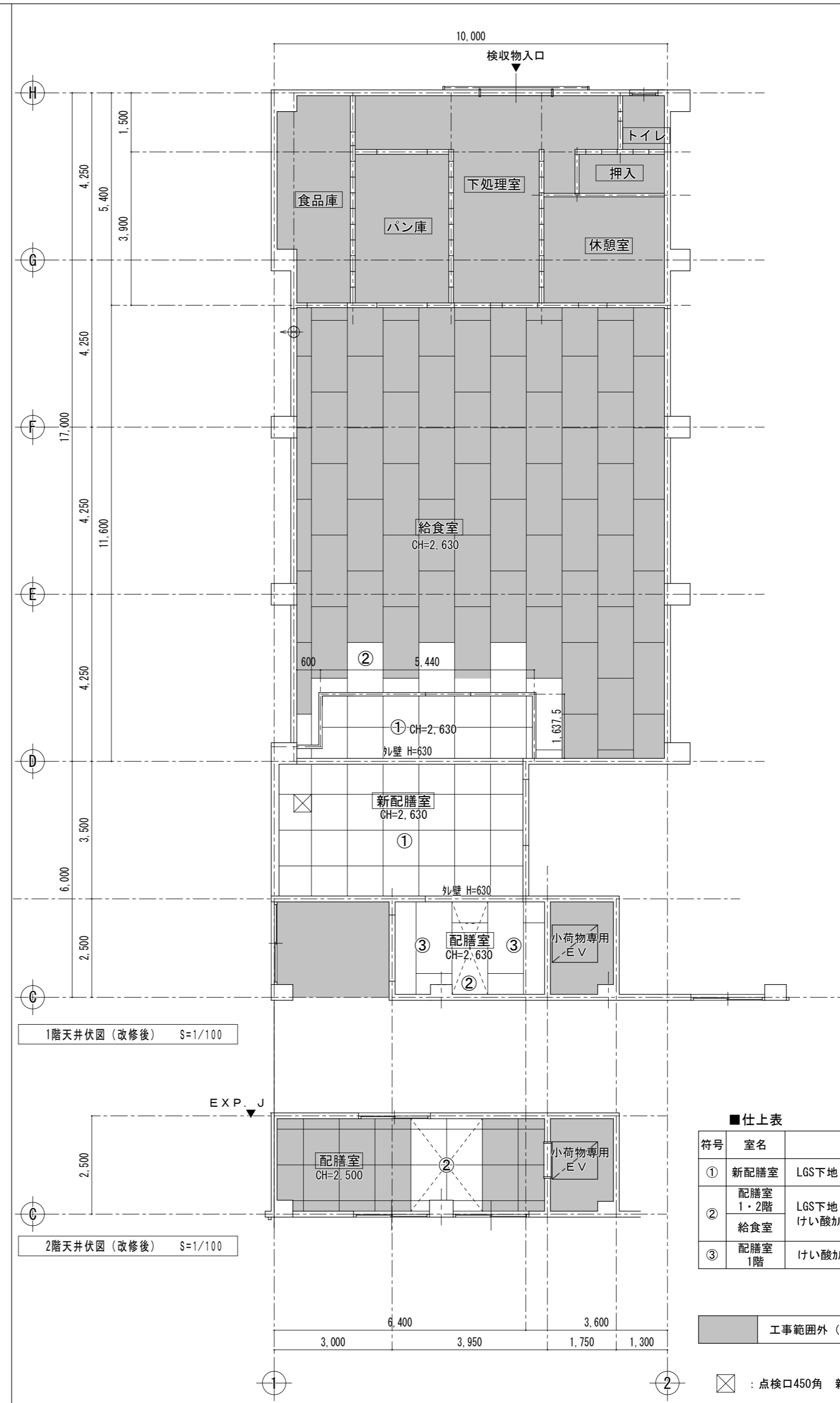
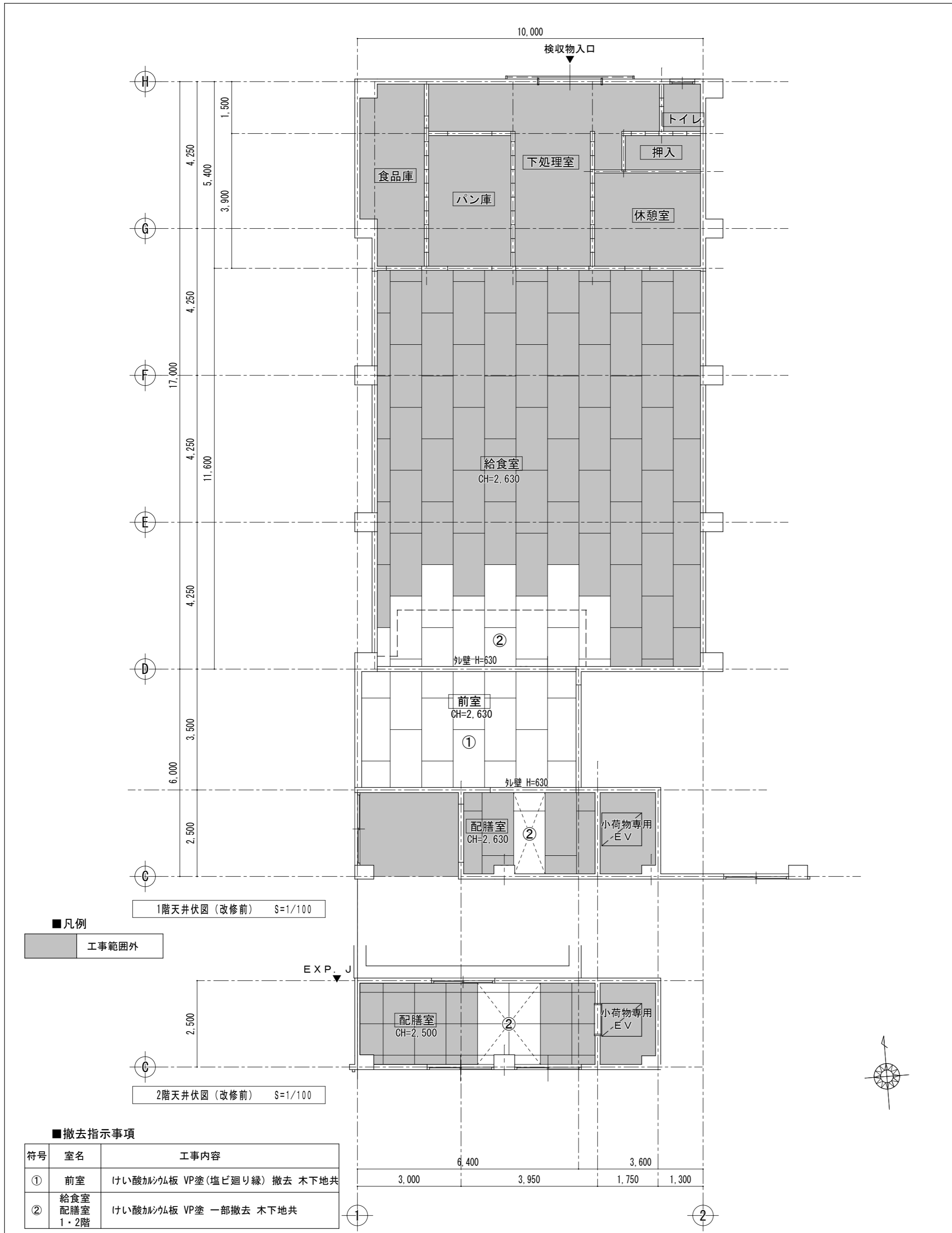
-C-

-D-

2階配膳室展開図 (改修後) S=1/50

原図: A 2





■凡例
 工事範囲外

■撤去指示事項

符号	室名	工事内容
①	前室	けい酸カルシウム板 VP塗 (塩ビ廻り縁) 撤去 木下地共
②	給食室 配膳室 1・2階	けい酸カルシウム板 VP塗 一部撤去 木下地共

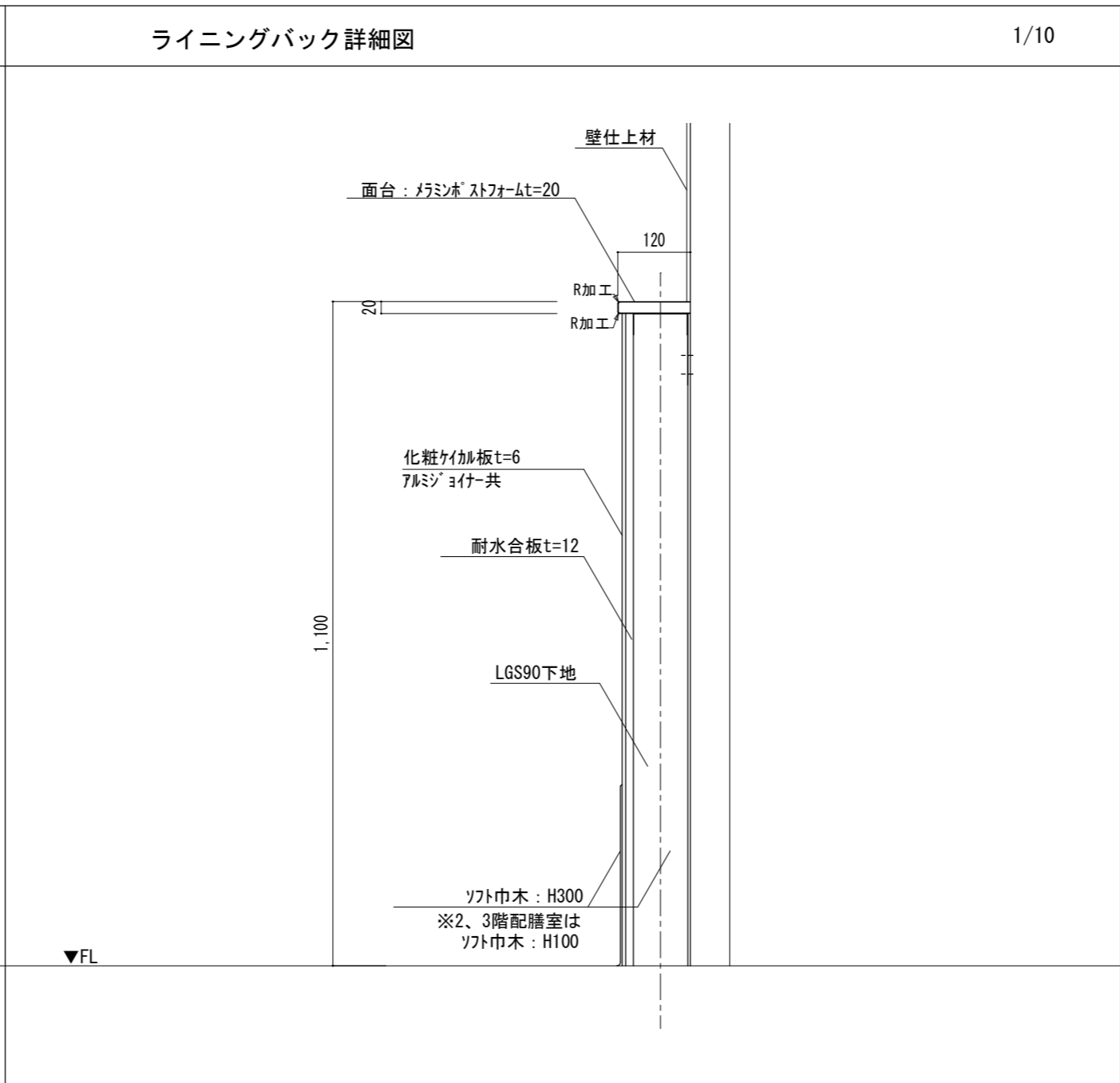
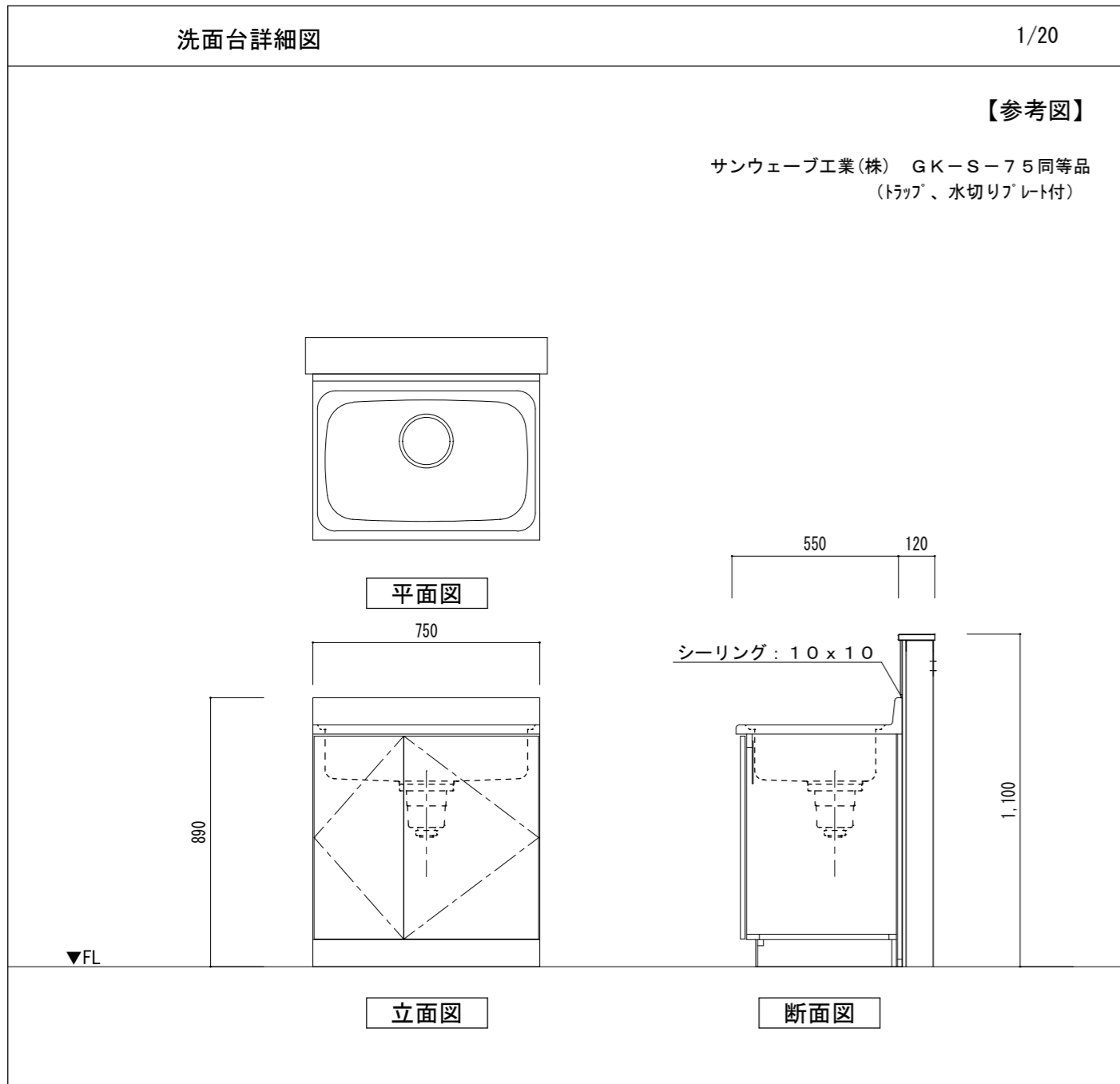
■仕上表

符号	室名	工事内容
①	新配膳室	LGS下地 化粧Pbt9.5 (塩ビ廻り縁共)
②	配膳室 1・2階 給食室	LGS下地 けい酸カルシウム板t6.0 (NAD塗) 目隠し張り
③	配膳室 1階	けい酸カルシウム板 NAD塗替え

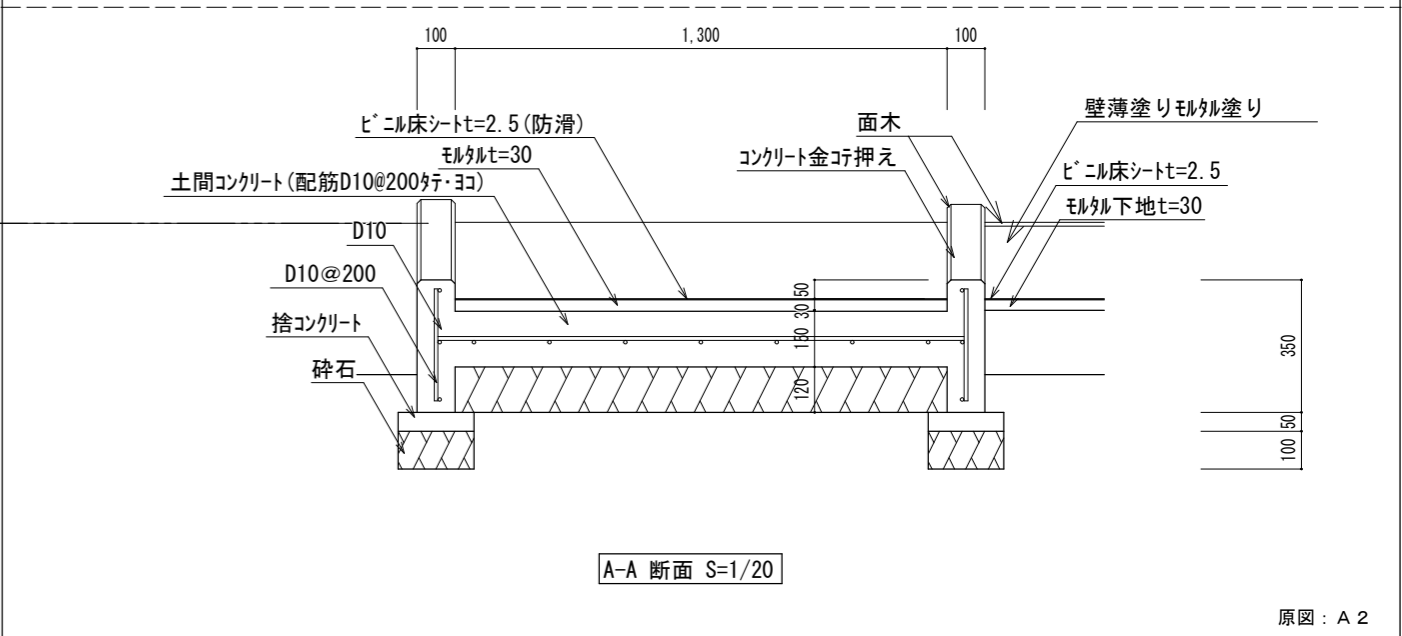
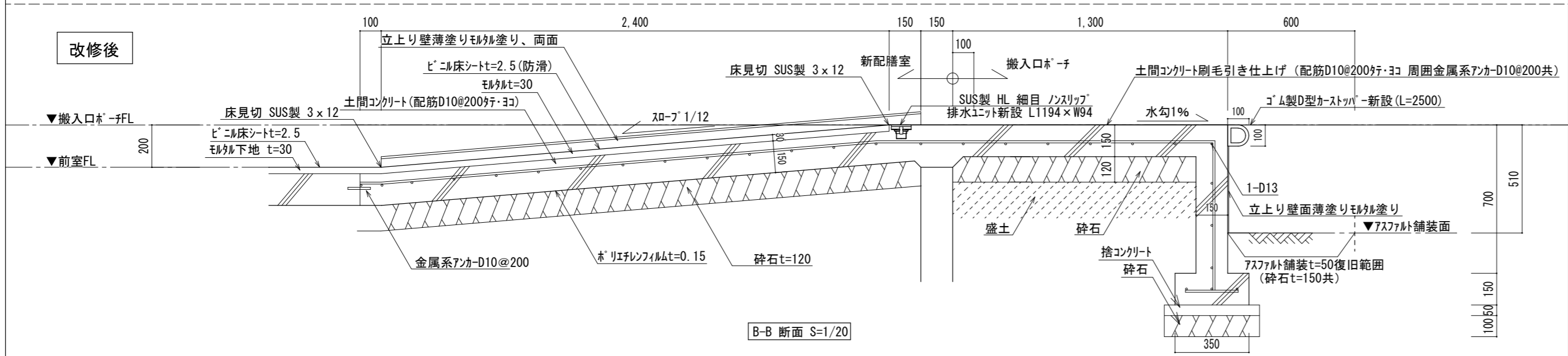
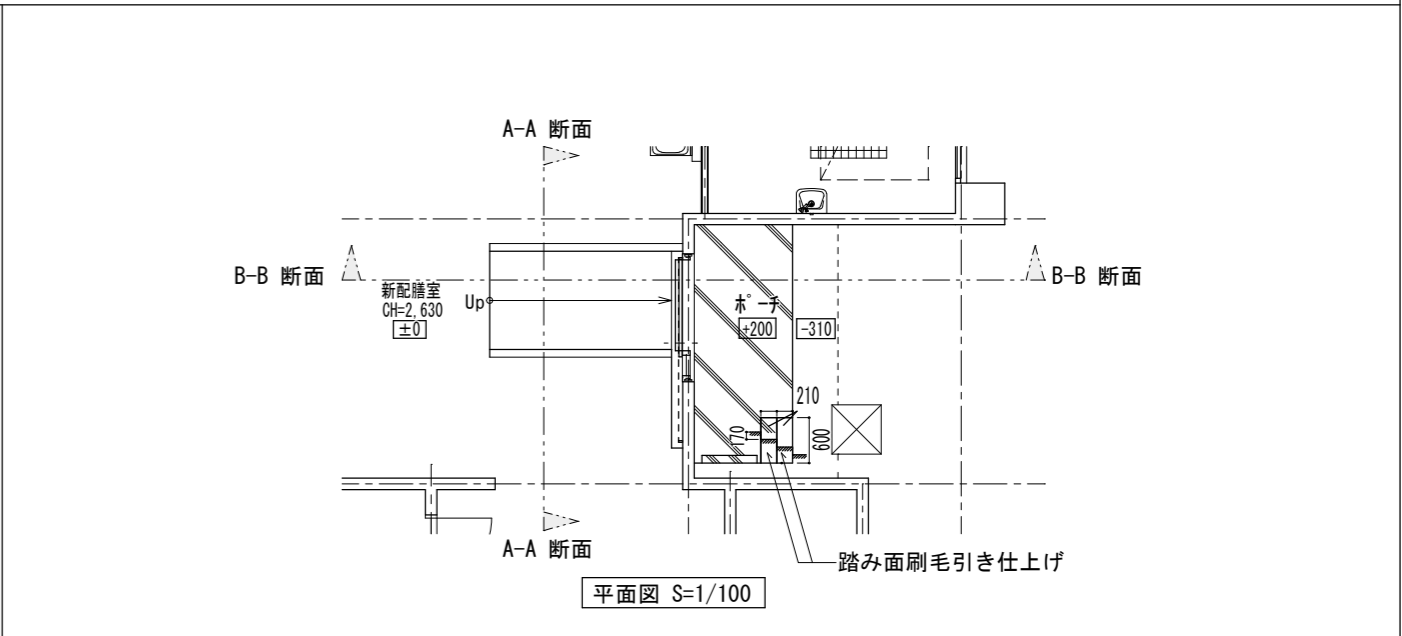
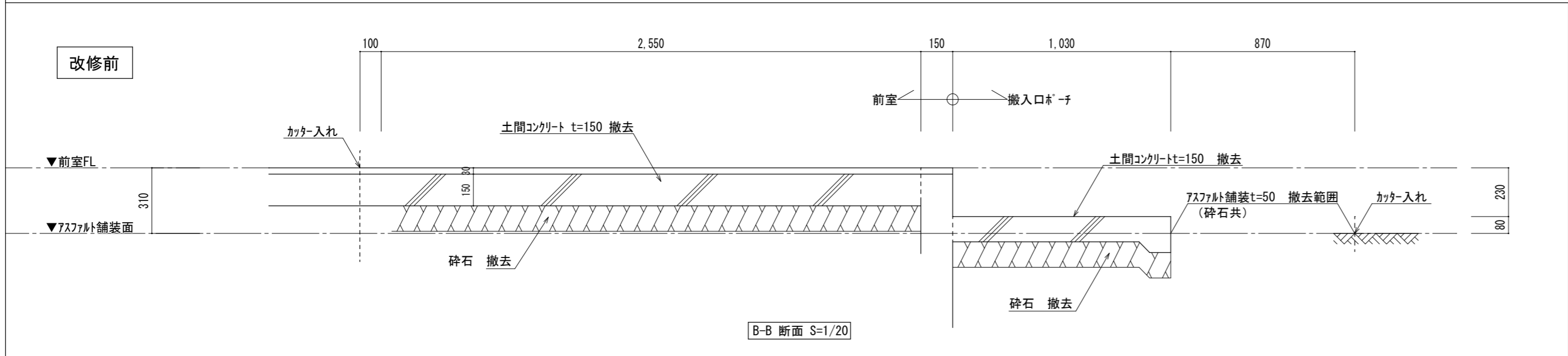
工事範囲外 (現状のまま)

⊠ : 点検口450角 新設

原図: A 2

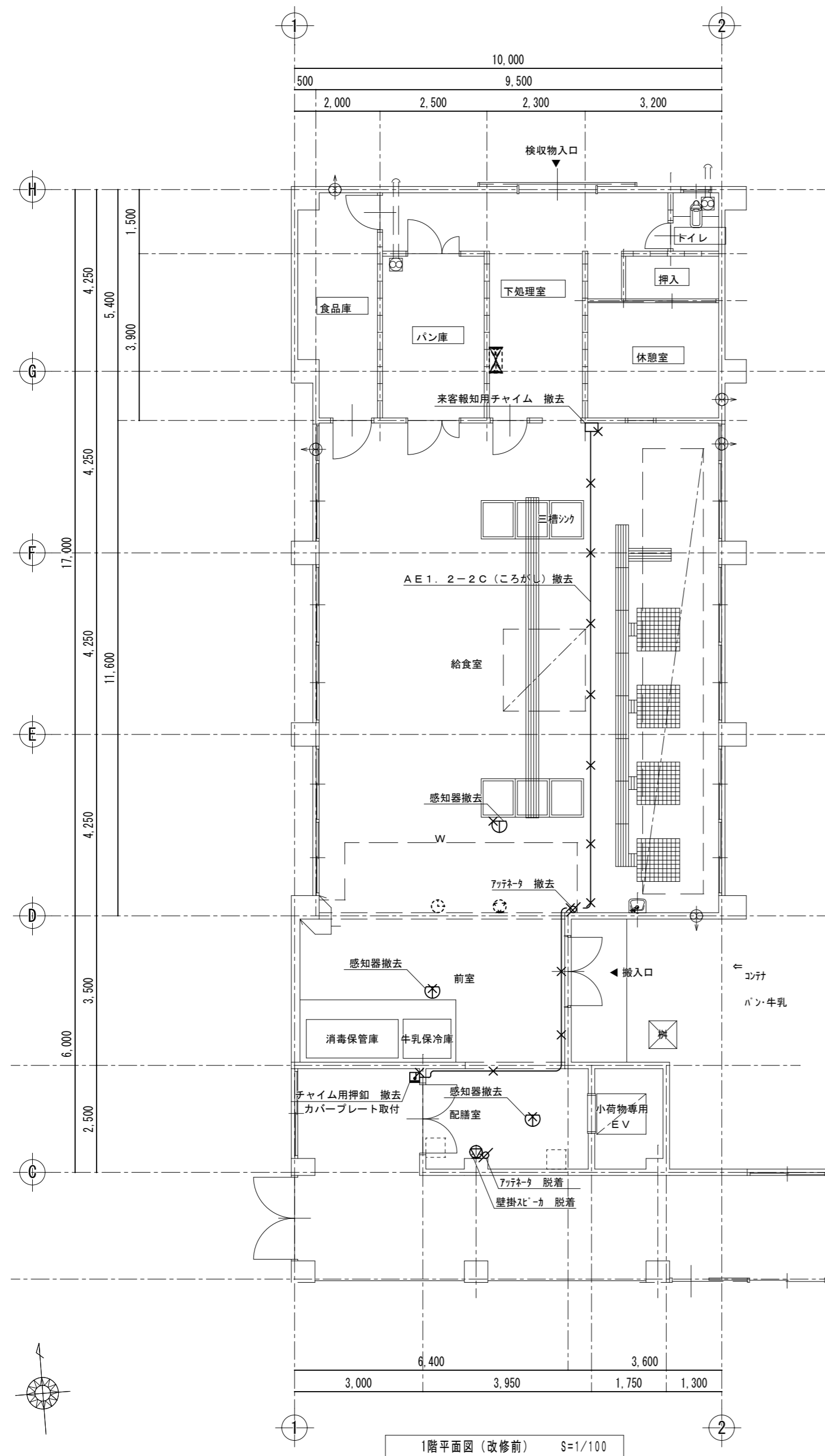


スロップ+搬入口土間+排水溝詳細図

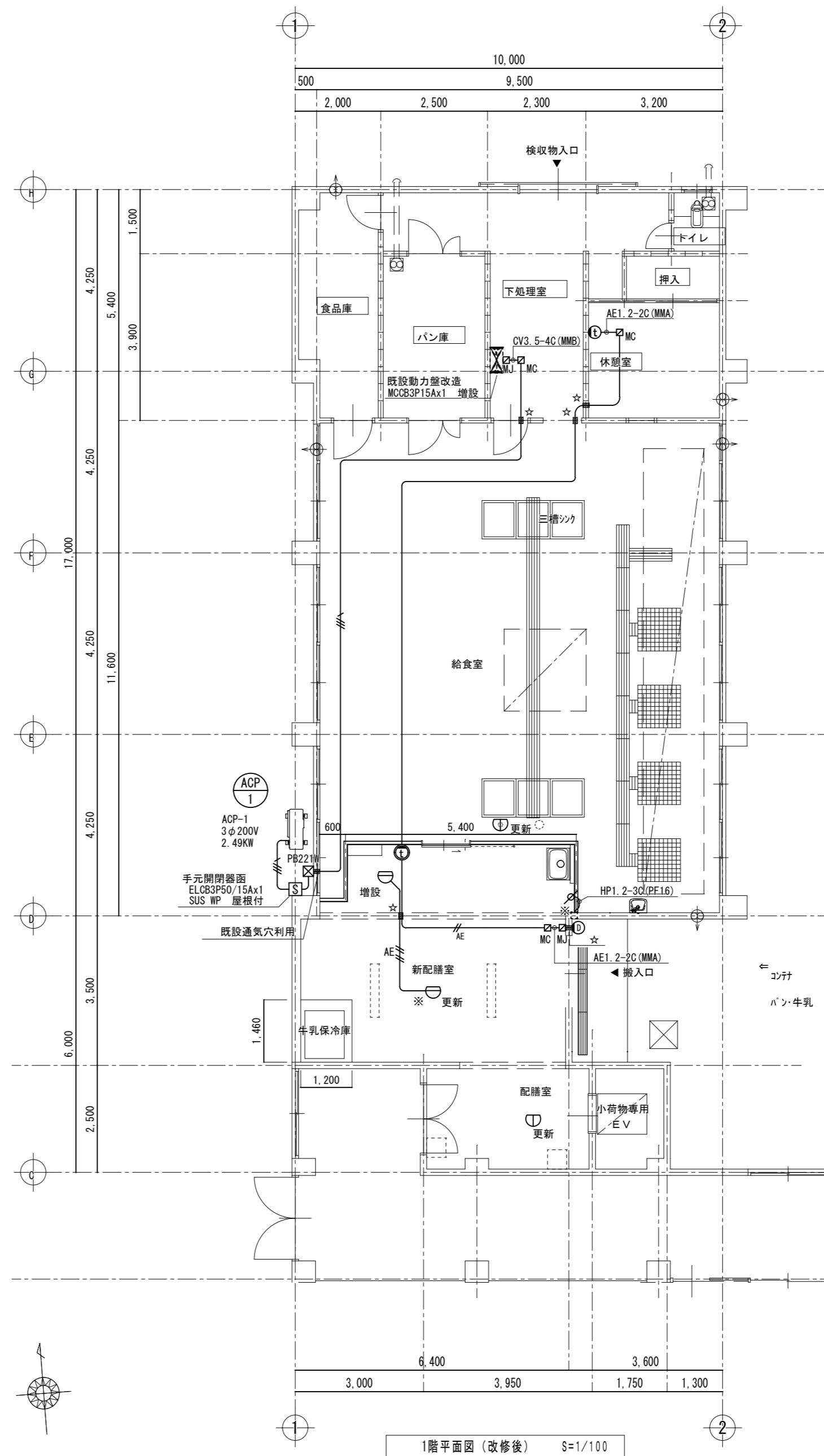


<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>2) 映像機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>(3) インターホン</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>(5) 録画装置</p>	<p>23. 駐車場管理設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カーゲート</p> <p>24. 防犯・入退室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入退室管理装置</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>(3) 非常ベル</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(5) ハンドホール</p> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール</p> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>	<p>III. 機器標準取付高さ</p> <p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(〇印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>電灯</td> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300 ○1,000mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300 ○400mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (台)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (W/P)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>時計・拡声</td> <td>壁掛型時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300 2,500mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アッテネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>インターホン</td> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2 個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td>機器収納箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国土省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</p>	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端			取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000		引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm		スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm		コンセント (一般)	床下～中心	300 ○400mm		コンセント (和室)	床下～中心	200		コンセント (台)	床下～中心	150		コンセント (W/P)	床下～中心	1,000		コンセント (地下)	床下～中心	1,000		コンセント (土間)	床下～中心	500		ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300		ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500	動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm		手元開閉器	床下～中心	1,500		操作スイッチ	床下～中心	1,300	電話	端子盤	床下～下端	300		保安器盤	床下～中心	2,000		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm		子時計	床下～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm		アッテネータ	床下～中心	1,300	表示	表示器	床下～中心	2,300		表示発信器	床下～中心	1,300		ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300	インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		子機 (身障者用)	床下～中心	1,100		呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2 個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)		表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800	テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000		直列ユニット	床下～中心	300		直列ユニット (和室)	床下～中心	200	火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500		発信器	床下～中心	1,300		表示灯	床下～中心	1,800		ベル	床下～中心	2,300
名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																								
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																																																									
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																								
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																								
電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																																																								
	スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm																																																																																																																																																																								
	コンセント (一般)	床下～中心	300 ○400mm																																																																																																																																																																								
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																								
	コンセント (台)	床下～中心	150																																																																																																																																																																								
	コンセント (W/P)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																								
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																								
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																																																																								
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																								
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																								
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																																																								
動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																																																								
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																								
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																								
電話	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																																																								
	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																								
時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																																																								
	子時計	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																								
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm																																																																																																																																																																								
	アッテネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																								
表示	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																								
	表示発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																								
	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																								
インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																								
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																																																								
	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2 個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																																																								
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																								
テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																								
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																																																								
	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																								
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																								
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																								
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																								
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																								

<p>ARCHITECTS DESIGN</p> <p>創空間設計</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大士登録 第327163号 萩原 正洋</p>	<p>訂正</p> <p>特記</p>	<p>工事名称</p> <p>津市立栗真小学校給食受入施設改修工事</p>	<p>図面内容</p> <p>電気設備工事特記仕様書 3</p> <p>縮尺 年月日</p>	<p>図面番号</p> <p>E-03</p> <p>枚/内 区分</p>
---	---------------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------



1階平面図 (改修前) S=1/100



1階平面図 (改修後) S=1/100

弱電機器姿図

①	モニタ付親機
②	モニタ付増設親機

電源電圧	AC100V 50/60Hz
形 式	監視付型 (LIS) 専用スイッチボックス
材 質	自己消火性樹脂
通話方式	音声自動交差通話/ブレストーク通話
モニター	3.5型TFTカラー液晶
移動接点入力	漏電圧メーク検出
増設親機	モニター付

③	カメラ付玄関子機
---	----------

電源電圧	モニター付親機から供給
形 式	監視付型 (LIS) 専用スイッチボックス
材 質	自己消火性樹脂
通話方式	自動交差通話
カメラ	1/4型カラー-CMOS

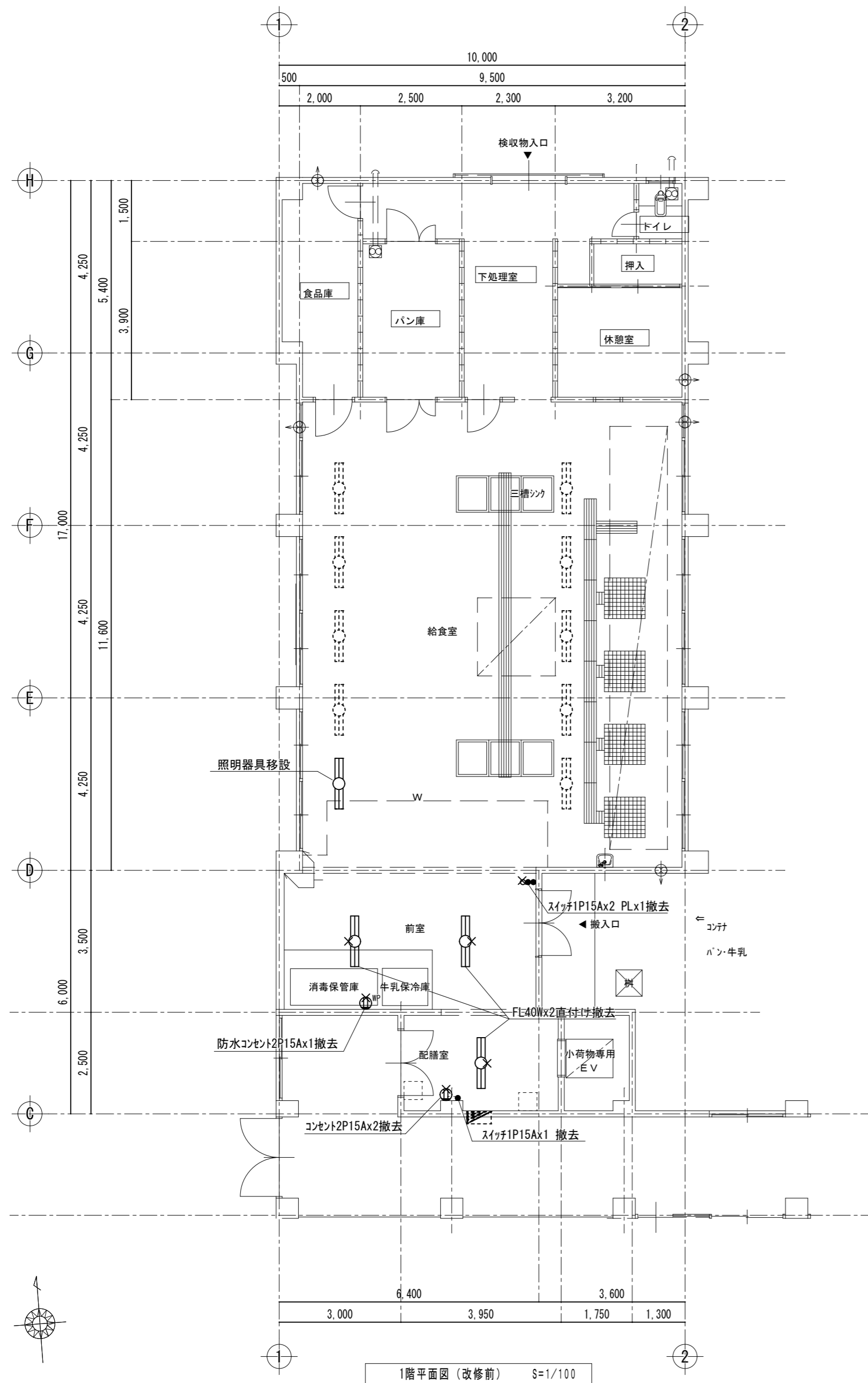
注記

図中記入なき配線は下記とする。	保護管
—//—	VVF1.6-2C (PF16)
—//AE—	AE1.2-2C (PF16)
—//AE—	AE1.2-4C (PF16)
—//—	CV3.5-4C (HI22)

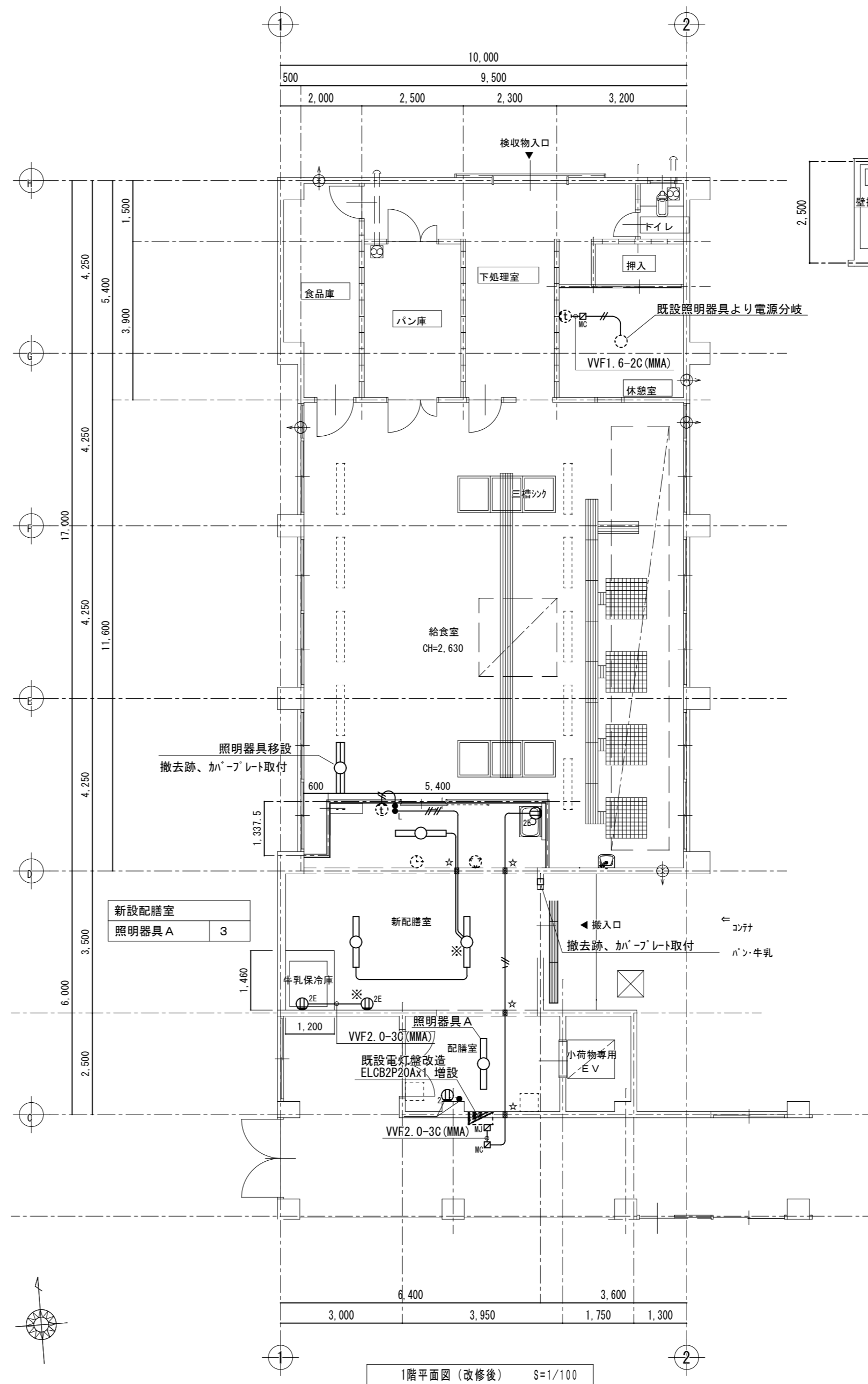
凡例

(MMA) ~	メタルモールA型	(MMB) ~	メタルモールB型
□ ^{MC}	メタルモールコーナーボックス	□ ^{MJ}	メタルモールジャンクションボックス
□ ^{PS221W}	ブルボックス 200×200×100 SUS WP	⊖	差動式スポット型熱感知器 2種 露出型
⊖	定温式スポット型熱感知器 1種 防水 露出型	⊘	アッテネータ
二重天井内はケーブルこころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はPF管にて保護とする。			
☆印は、壁貫通箇所を示す。			
※印は、既設配線接続箇所を示す。			

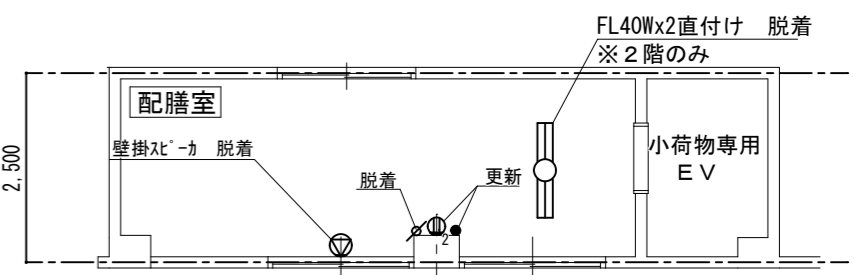
原図：A2



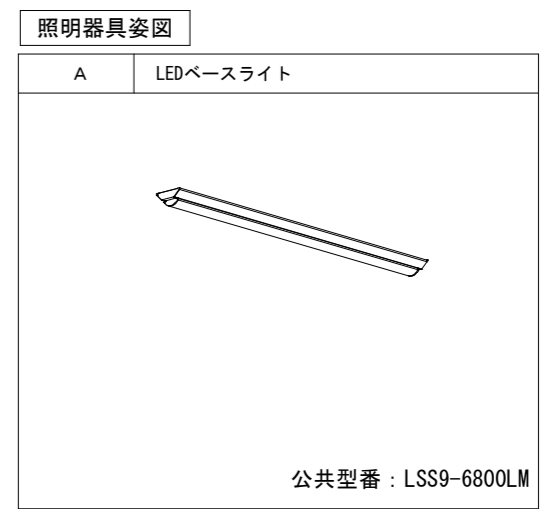
1階平面図 (改修前) S=1/100



1階平面図 (改修後) S=1/100



2階、3階 電気設備平面図 S=1/100



注記

図中記入なき配線は下記とする。	保護管
—//—	VVF2.0-3C (1E) (PF22)
—//—	VVF1.6-3C (1E) (PF22)
—//—	VVF1.6-2C (PF16)
—//—	VVF1.6-2Cx2 (PF22)

凡例

- (MMA) ~ メタルモールA型
- MC ~ メタルモールコーナーボックス
- MJ ~ メタルモールジャンクションボックス
- ~ タンブラスイッチ 1P15Ax1 新金属プレート
- ~ 確認表示灯付スイッチ 1P15Ax1 新金属プレート
- Ⓞ ~ 埋込コンセント 2P15Ax2 新金属プレート
- Ⓞ_地 ~ 埋込コンセント 接地極付 2P15Ax2 新金属プレート

二重天井内はケーブルところがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はPF管にて保護とする。

☆印は、壁貫通箇所を示す。

※印は、既設配線接続箇所を示す。

原図: A 2

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鉄鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鉄鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGOCC) 鍍金付着Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト スパイラルダクト
 下水道用サイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)			
保温筒	JIS A 9504 2号 40K	保温帯	JIS A 9504 2号 40K
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/>
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)			
保温板、保温帯、ブランケット		1号JIS A 9504	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

□ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)			
保温筒	JIS A 9511 3号	保温板	JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ 鋼合ペイント塗り塗料 (露出)			
JIS K 5516 (合成樹脂鋼合ペイント) 1種			
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サプライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙罩(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバ	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7mm厚UPR仕上
天井内・P S内	75H 75化樹脂保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7mm厚UPR仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の屋外露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)					
	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	H 75H/75A	合成樹脂製カバ	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	H 75H/75A	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	H 75H/75A	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	H 75H/75A	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	H 75H/75A	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様					
	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ 温水・膨張・温水 貯湯タンク 温水・蒸気ヘッダ 熱交換器	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様					
	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
パイラダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
サブライチャンパー 消音チャンパー、エルボ	屋内露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板
	サブライチャンパー		紙	保温板	ガラスクロス 鋼亀甲金網
	消音チャンパー、エルボ		紙	保温板	ガラスクロス
排煙ダクト長方形 排煙ダクト 円形 煙道	屋内隠蔽		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
	ブランケット		紙	鉄線	カラー鉄板

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による重鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様						
機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	鋼合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	鋼合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

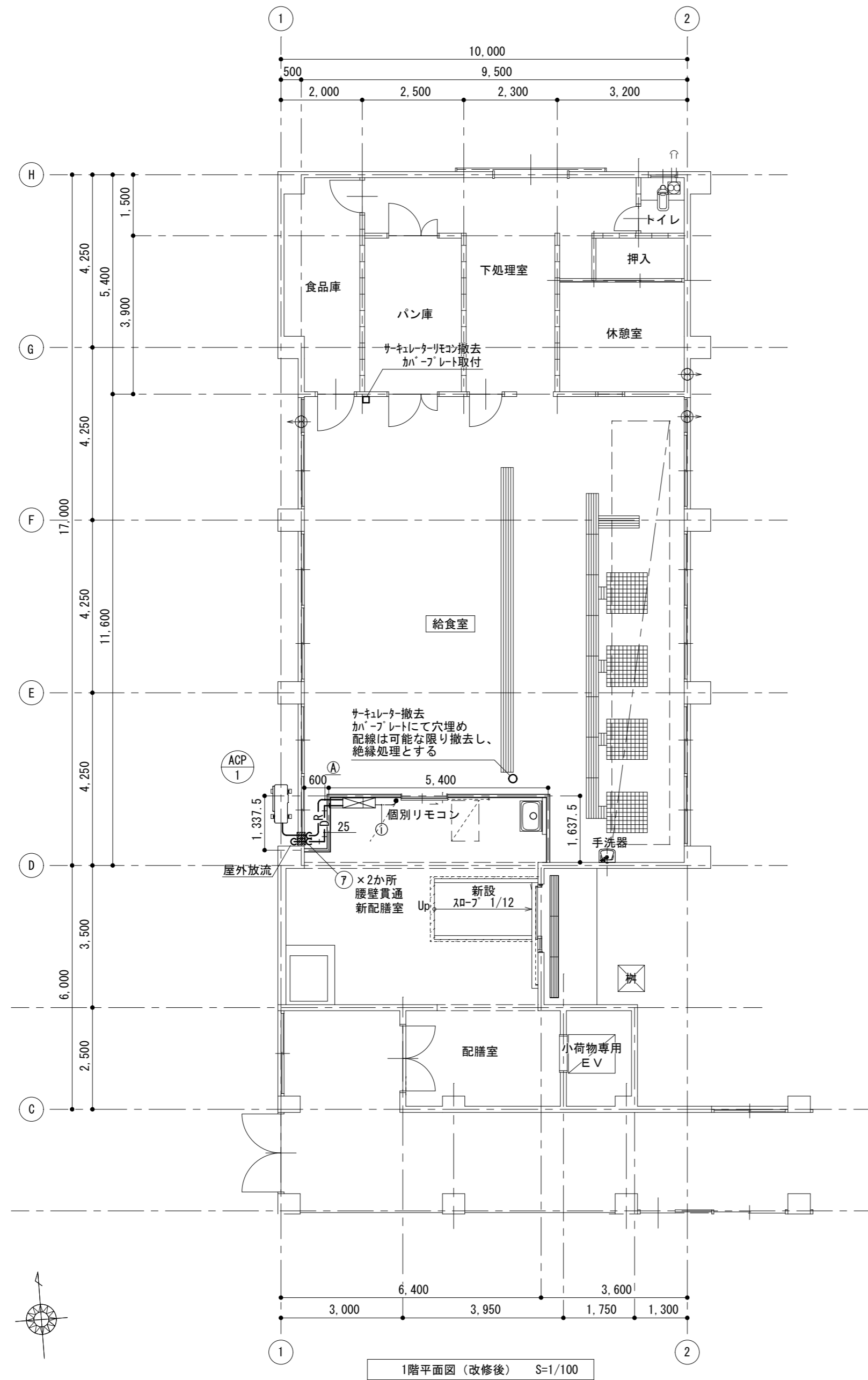
- ダクト保温施工範囲
- SA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - EA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - RA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - OA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

- 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズIP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
- 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けのガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、排水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護すること。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げするなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上とする。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバの仕上については、保温見切り箇所には菊巻の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設養生土は場外自由処分とすること。



1階平面図 (改修後) S=1/100

記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ9.5	φ15.9	WVF2.0-3C

Ⓜ	リモコン線	CVVS1.25-2C
---	-------	-------------

図中記号凡例			
■	⑦	RC壁コア抜き補修	φ100
■	④	RC壁コア抜き補修	φ75
○	⑦	RC床コア抜き補修	φ75

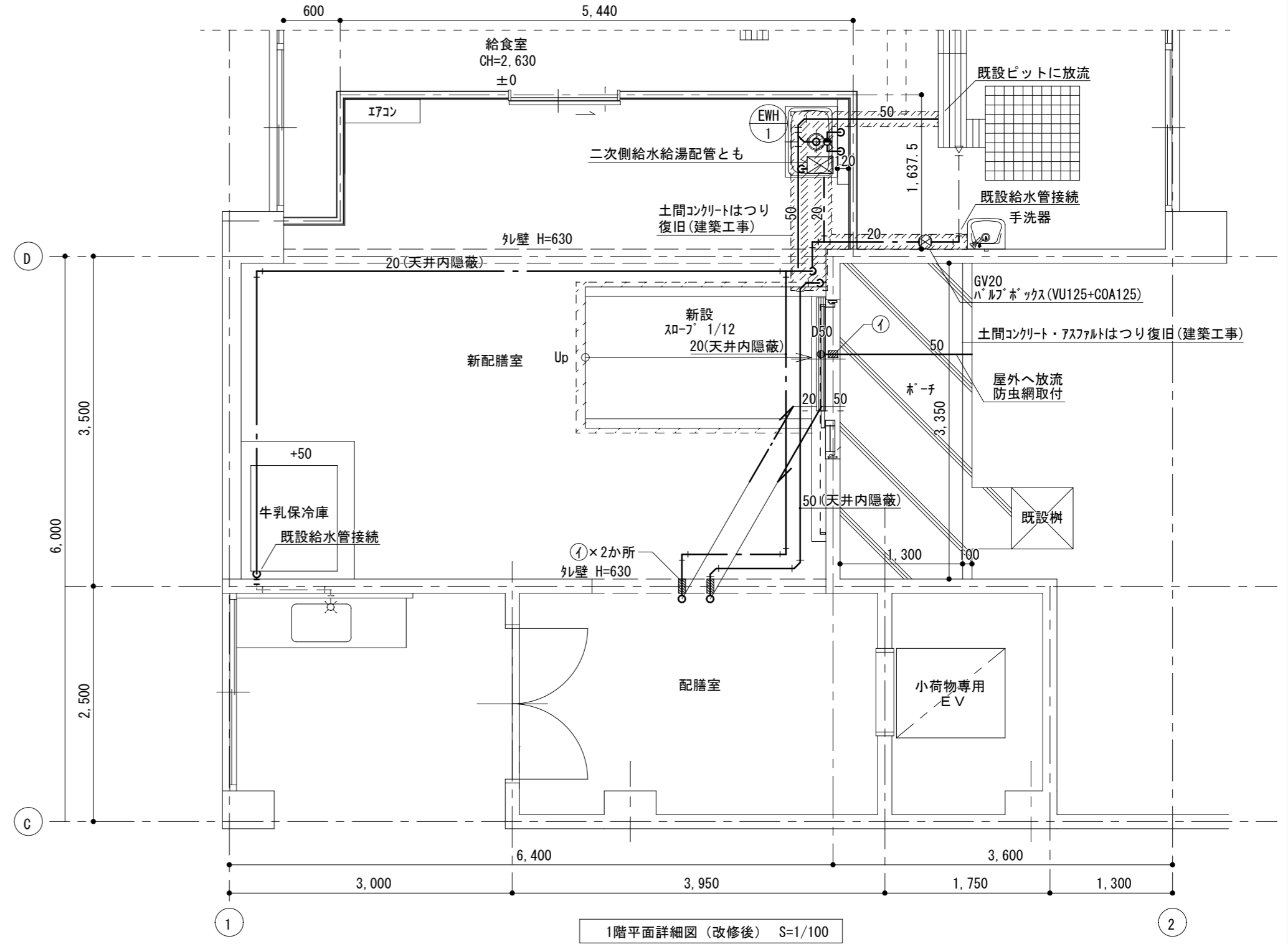
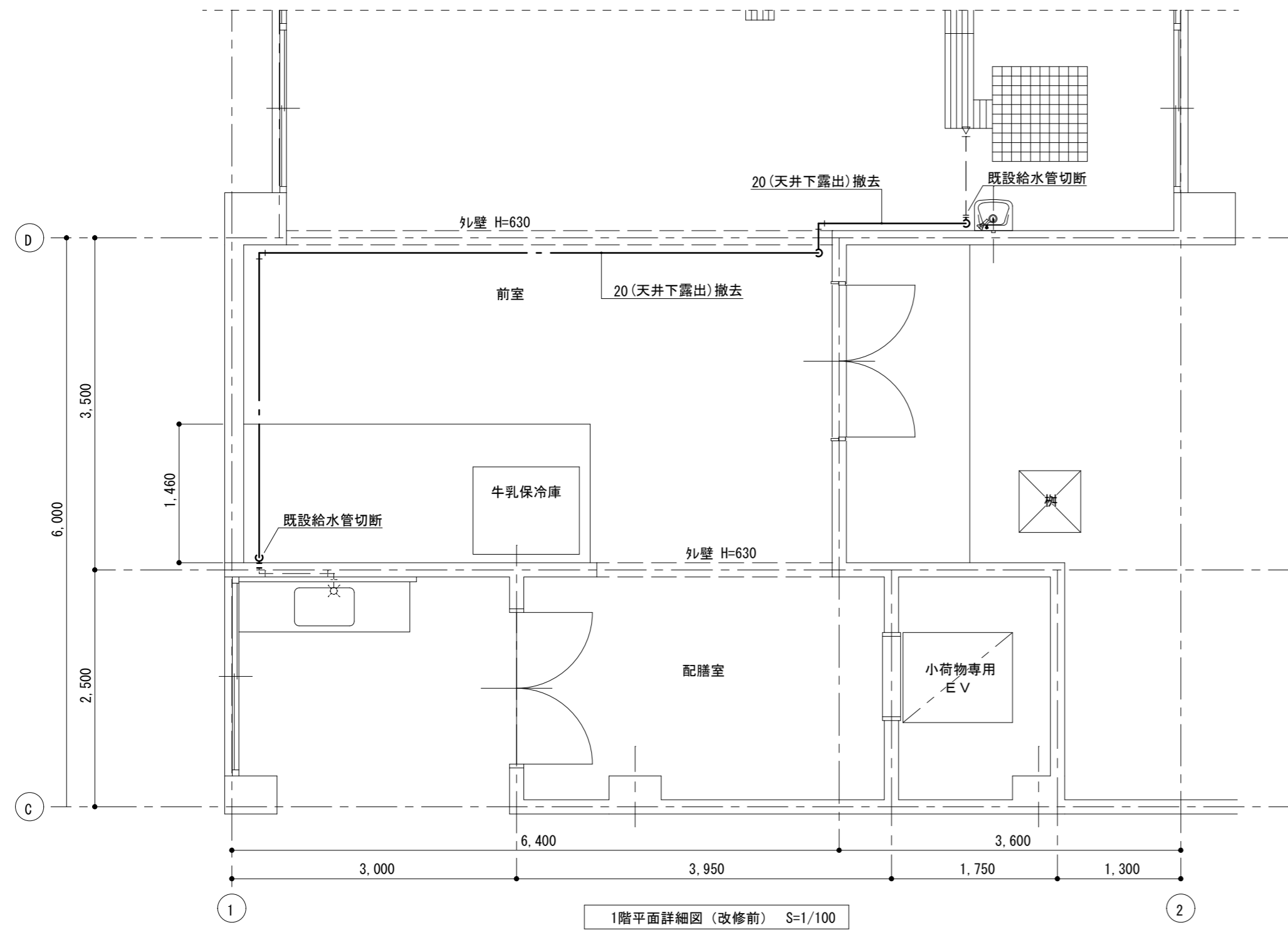
空調機器表 (新設)					
記号	形式・名称	仕様		台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力: 7.1 (3.2~8.0) Kw	暖房能力: 8.0 (3.6~9.5) Kw	1	防振ゴム ワイヤードリモコン
	壁掛型	3相200v	冷房定格消費電力: 2.49kW		暖房定格消費電力: 2.49kW
					既製コンクリート基礎

特記事項: 運転特性、能力はJIS条件による。電気容量値は参考とする。空調機は省エネタイプを仕様とすること。
 空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。
 アンカーはケミカルアンカー仕様。機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシートを敷くこと。パッケージエアコン室外機には防護ネットを施すこと。
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。

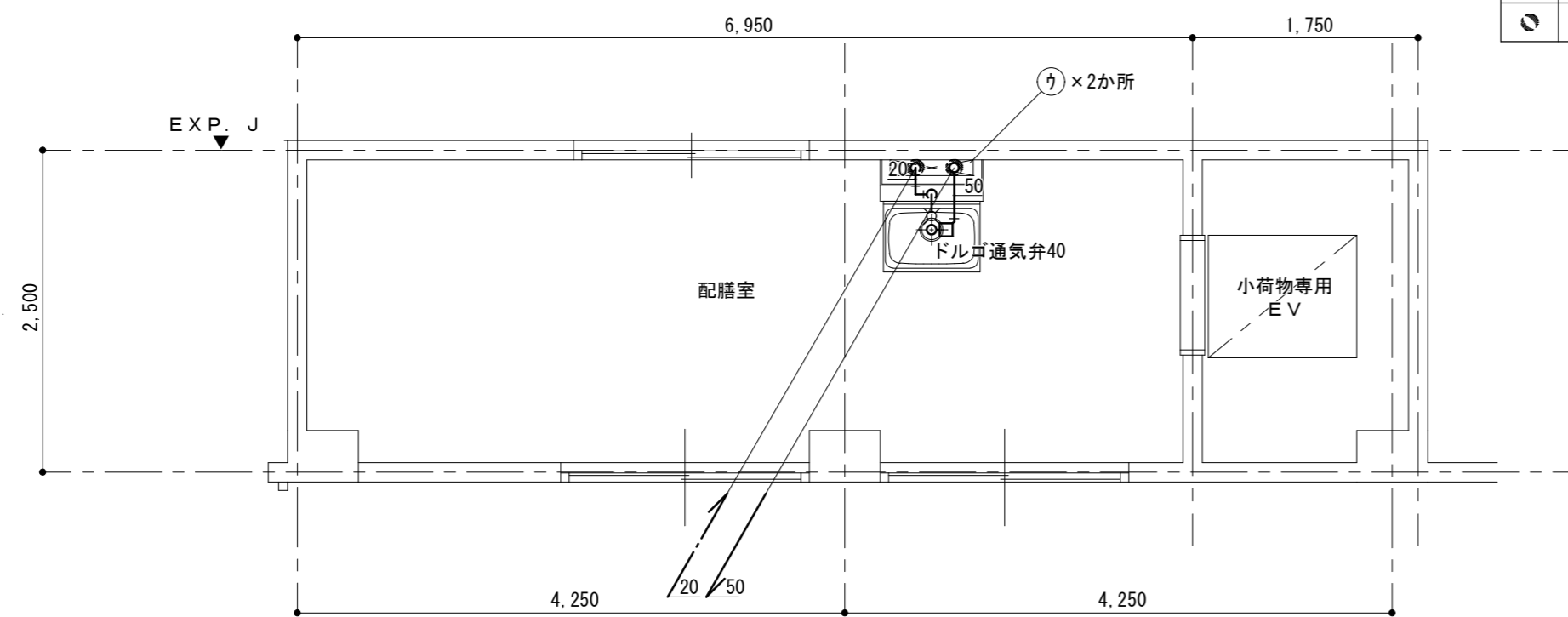
凡例			
図示記号	名称	配管材料	防露塗装仕様
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出: 配管化粧カバー 屋外露出: ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
— D —	ドレン管	保温付VP ※屋外はφ75とする	

原図: A 2

図中記号凡例		
⑦	RC壁コア抜き補修	φ100
④	RC壁コア抜き補修	φ75
⑨	RC床コア抜き補修	φ75

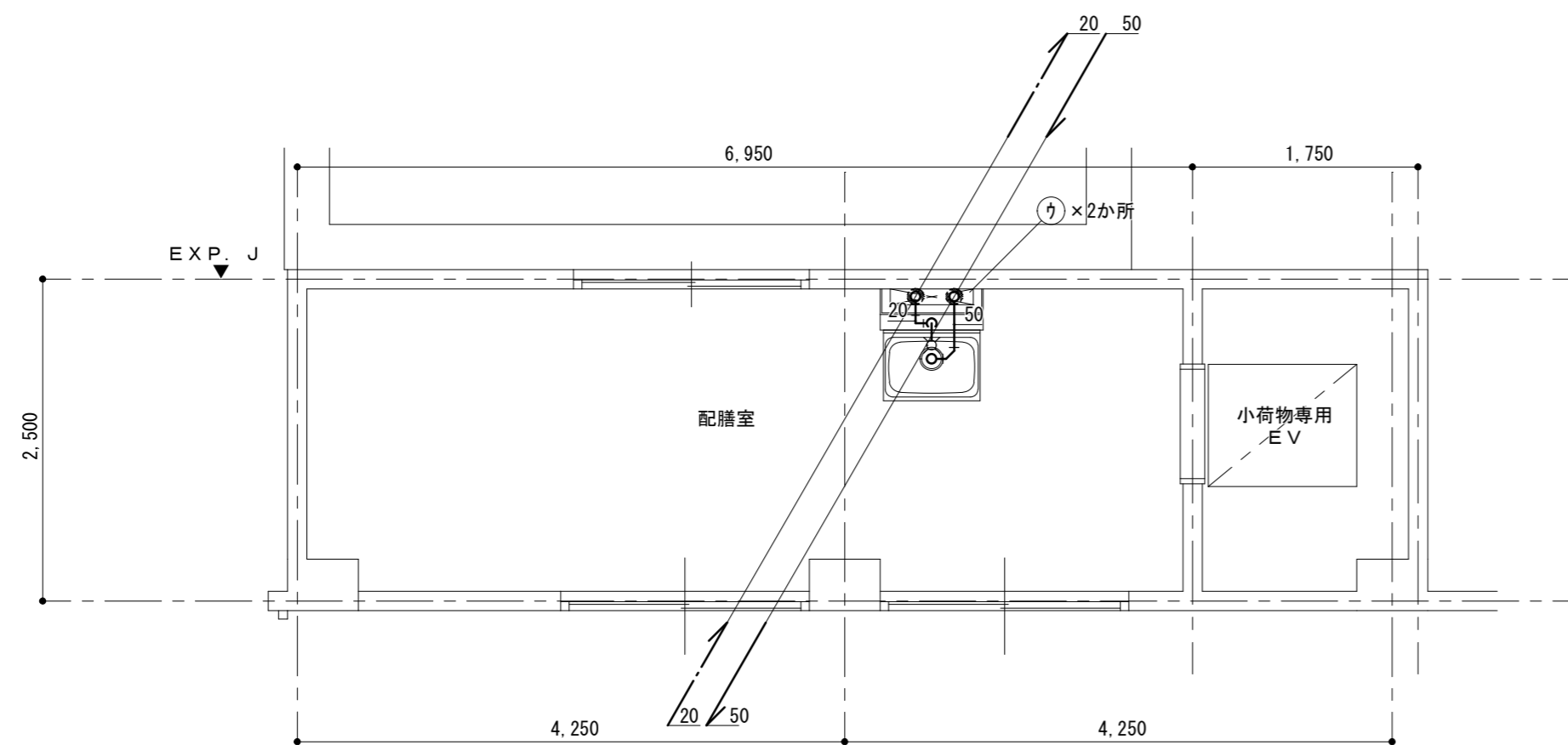


原図：A 2



■	㊦	RC壁コア抜き補修	φ100
■	㊩	RC壁コア抜き補修	φ75
○	㊨	RC床コア抜き補修	φ75

3階配膳室平面詳細図（改修後） S=1/50



2階配膳室平面詳細図（改修後） S=1/50

名称	仕様	設置場所			合計
		1階新配膳室	2階配膳室	3階配膳室	
混合水栓	TKGG30E 壁付シンク用レバー	1			1
自在水栓	T130ARQ13C レバーハンドルφ(170mm)		1	1	2
流し台（建築工事）	SUS製 750W 排水トラップ共	(1)	(1)	(1)	(3)

記号	名称	機器仕様	台数	備考・参考型番
EWH-1	電気温水器	貯湯量 12L	1	REKB12A12
	(飲料・洗い物用タイプ)	電源 AC100V 消費電力 1.1kW		
		その他 ウォークリタイマー 自動給排水 開放式排水ホース		
		アングル止水栓		

原図：A 2